

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	現代の国語	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	現代の国語（第一学習社）				
副教材	・常用漢字ダブルクリア 五訂版（尚文出版） ・新演習 現代文アチーブ1 四訂版（桐原書店）						

学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に、教科書、副教材、プリント等を活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けていきます。現代の国語では、随想、評論、実用的文章等、様々なジャンルに触れ、読解方法を学び筆者の考えを理解していきます。筆者をはじめとする他者を意識し、自身のものの見方や考え方を広げるよう取り組んでください。学習への積極的・意欲的な取組が基本です。授業に出席し、真剣な態度で臨んでください。また、提出物は確実に提出し、家庭でも授業の予習・復習を適切に行ってください。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】小テスト、定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】定期テスト、提出物、授業中の発言 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、提出物、授業態度

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学 期	1 「生きものとして生きる」	文章の構成や展開、対比構造に着目し、読解方法を習得していきます。また、具体と抽象を理解し、文章の要約の仕方を学びます。 登場人物の性格や行動を読み取って心理を考察し、自身に置き換えて考えます。
	1 『『本当の自分』幻想』	
	2 「水の東西」	
	2 「羅生門」	
2 学 期	3 「無彩の色」	評論の読解を通して、共通点や相違点など様々な見方や思考の過程を習得し、自らの生き方に生かします。 登場人物の行動や会話からの的確に心情を読み取って鑑賞します。
	3 「夢十夜」	
	4 「フェアな競争」	
	4 「鏡」	
3 学 期	5 「不均等な時間」	文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学びます。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学びます。 情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践します。
	5 「城の崎にて」	
	話して伝える	
	「理想の修学旅行をプレゼンする」	
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	言語文化	学年	第4学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	言語文化（数研出版）				
副教材	・Look@古文単語375（啓隆社） ・体系古典文法（数研出版） ・精選漢文（尚文出版） ・基本の古文 3ステップオリジナル問題集（尚文出版） ・基本の漢文 3ステップオリジナル問題集（尚文出版） ・体系古典文法準拠ノート（数研出版） ・精選漢文ノート（尚文出版）						

学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てます。
学習方法	授業を中心に、教科書、副教材、プリント等を活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けていきます。思想や時代等の古典常識を学び、作品を理解、鑑賞していきます。また、の表現の実践として、目的や課題に応じた表現活動に取り組んでいきます。学習への積極的・方意欲的な取組が基本です。授業に出席し、真剣な態度で臨んでください。また、提出物は法確実に提出し、家庭でも授業の予習・復習を適切に行ってください。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】小テスト、定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】定期テスト、提出物、授業中の発言 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、提出物、授業態度

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	説話 故事成語 歌物語 詩歌	基本的事項を学び、人物像を読み取ったり情景を読み取ったりします。和歌に込められた思いを学習し、作者や登場人物の心理を考察します。 故事成語の意味や日本への影響を理解します。
2 学期	随筆一 史伝 随筆二 日記文学 現代小説	各章段の教訓や滑稽味、和歌に込められた思いを学習し、作者や登場人物の心理をたどり、現代の生活と比較して考えます。 故事成語の意味や日本への影響を理解します。
3 学期	古典の詩歌 思想 漢詩 中国の詩 軍記物語 近代小説	和歌や漢詩の修辞を理解し、作品に表れている情景や心情を読み取ります。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈します。 古典は、現代の日本であっても色あせない普遍の心理を学びます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	論理国語	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	3単位	教科書	精選 論理国語（三省堂）				
副教材	常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）・新成現代文大学入学共通テスト対策新装二版（尚文出版）						

学習目標	論理的な文章に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付け、現代の評論文を理解する力を養うとともに、自己の意見をまとめ表現する力、近・現代の社会や文化に対する興味と関心を育てます。 また、学習を通して、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、実社会で役立つ国語力を育成します。
学習方法	授業を中心に、教科書、副教材、プリントを活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けていきます。内容の理解のみに偏るのではなく、思考や表現の深まりを重視し、論理的な文章の読解を進めていきます。現代社会について考え、自分のものの見方や考え方を広げ、発信する姿勢を養いましょう。 また、授業の予習・復習に意欲的に取り組んでください。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】定期テスト、提出物、授業中の発言 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、提出物、授業態度

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 評論（一）「情報の『メタ』化」 評論（二）「ぬくみ」 評論（三）「人類による環境への影響」	具体から抽象へと至る思考過程を理解し、評論文読解の基礎を身に付けます。また、文章の構成や展開、対比に注目し、内容を的確に捉える力を養います。 様々な評論に触れることで知的好奇心を高め、自ら課題を設定し、考察してまとめることを目指します。
2学期 評論（四）「記号を使う動物」 評論（六）「ミロのヴィーナス」 評論（五）「病と科学」	観念的、概念的な表現を理解し、読解力の向上を目指します。また、言葉や生命に対する筆者の意見をもとに考えを深め、自らの立場や論点を明確にして論述する力を身に付けます。 表現を味わいながら読み解くことで、確かな読解力と豊かな感性を養います。
3学期 評論（七）「AI時代の『人間』」 評論（八）「『である』ことと『する』こと」 読み比べ 実用文	現代社会の人間のあり方について、引用されている記述や具体例、比喩表現に注目し、筆者の主張を正確に把握する力を身に付けます。また、筆者の思考方法学ぶことで社会事象を捉え直し、自分なりに考察したことを文章にまとめる力を養います。 書くこと、発表することを通して、伝える力・発信する力の向上を目指します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	論理国語	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2単位	教科書	精選 論理国語（三省堂）				
副教材	常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）・新成現代文大学入学共通テスト対策新装二版（尚文出版）						

学習目標	論理的な文章に関する基礎的・基本的な知識と読解力を身に付け、現代の評論文を理解する力を養うとともに、自己の意見をまとめ表現する力、近・現代の社会や文化に対する興味と関心を育てます。 また、学習を通して、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、実社会で役立つ国語力を育成します。
学習方法	授業を中心に、教科書、副教材、プリントを活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けていきます。内容の理解のみに偏るのではなく、思考や表現の深まりを重視し、論理的な文章の読解を進めていきます。現代社会について考え、自分のものの見方や考え方を広げ、発信する姿勢を養いましょう。 また、授業の予習・復習に意欲的に取り組んでください。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】定期テスト、提出物、授業中の発言 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、提出物、授業態度

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 評論（一）「情報の『メタ』化」 評論（二）「ぬくみ」 評論（三）「人類による環境への影響」	具体から抽象へと至る思考過程を理解し、評論文読解の基礎を身に付けます。また、文章の構成や展開、対比に注目し、内容を的確に捉える力を養います。 様々な評論に触れることで知的好奇心を高め、自ら課題を設定し、考察してまとめることを目指します。
2学期 評論（四）「記号を使う動物」 評論（六）「ミロのヴィーナス」 評論（五）「病と科学」	観念的、概念的な表現を理解し、読解力の向上を目指します。また、言葉や生命に対する筆者の意見をもとに考えを深め、自らの立場や論点を明確にして論述する力を身に付けます。 表現を味わいながら読み解くことで、確かな読解力と豊かな感性を養います。
3学期 評論（七）「AI時代の『人間』」 評論（八）「『である』ことと『する』こと」 読み比べ 実用文	現代社会の人間のあり方について、引用されている記述や具体例、比喩表現に注目し、筆者の主張を正確に把握する力を身に付けます。また、筆者の思考方法学ぶことで社会事象を捉え直し、自分なりに考察したことを文章にまとめる力を養います。 書くこと、発表することを通して、伝える力・発信する力の向上を目指します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	古典探究	学年	5年	類型	ヒューマニティーズ類型、 サイエンス類型
単位数	2 単位	教科書	高等学校古典探究（数研出版）				
副教材	・Look@古文単語375（啓隆社） ・必携 新明説漢文（尚文出版） ・新明説漢文ノート（尚文出版） ・新成古文大学入学共通テスト対策新装二版（尚文出版） ・新成漢文大学入学共通テスト対策新装二版（尚文出版） ・完全マスター古典文法（第一学習社） ・完全マスター古典文法準拠ノート（第一学習社）						

学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てます。
学習	授業を中心に、教科書、副教材、プリント、小テスト等を活用して、古文・漢文の知識と読解力、思考力、表現力を身に付けていきます。能動的に学習に励み、調べ学習や関連する教材との読み比べなどを通じて理解を深めましょう。授業には真剣な態度で臨んでください。また、提出物は確実に提出し、家庭でも授業の予習・復習を適切に行ってください。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 小テスト、定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物、授業中の発言 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、提出物、授業態度

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	○説話「十訓抄」 ○故事「買履忘度」 ○日記文学「伊勢物語 渚の院」 ○史伝「鴻門之会」	古文や漢文の文章を読むための基礎的な知識を確認し、古典作品の特質を知ります。我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養します。そして、古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培います。
2学期	○随筆（一）「枕草子 すさまじきもの」 ○随筆（二）「花は盛りに」 ○漢詩「中国の詩 絶句 律詩」 ○思想「老子」	古文の文章を読むことで、古人の豊かな情操にふれるとともに、個人の価値を尊重し創造性を培います。その中で我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気付く、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養します。漢文では、当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養います。
3学期	○日記文学（一）「更級日記 東路の果て」 ○思想「韓非子 侵官之害」 ○物語「源氏物語 藤壺の入内」	古人の豊かな情操にふれ、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。古典に関する幅広い知識と教養を身に付け、我が国の言語文化を尊重する態度を培うとともに、作者の思いや考え、意図を効果的にとらえます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	文学国語	学年	5 年	類型	ヒューマニティーズ類型
単位数	2 単位	教科書	文学国語（数研出版）				
副教材	常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）・新成現代文大学入学共通テスト対策新装二版（尚文出版）						

学習目標	文学的な文章を読解するための基本的な力を養うとともに、言語文化への理解を深め、自らのものの見方・考え方・感じ方を重視して、国語力を高めます。文学作品を読むことを通して、感性を磨き、深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付けます。また、文体の特徴や表現の効果について学び、自ら表現する力を伸ばします。
学習方法	授業を中心に、教科書、副教材、プリント、小テストを活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けていきます。内容の理解と鑑賞のみに偏らず、登場人物や作者の考え方や生き方にも注目し、読みを深めます。 また、特徴的な表現や印象深い表現について理解を深め、自らの表現力の向上を目指しましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】小テスト、定期テスト、提出物 【思考・判断・表現】定期テスト、提出物、授業中の発言 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、提出物、授業態度

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 ○文学の扉「山月記」 ○第一章平成の小説「鍋セット」 ○第一章昭和後期の小説「ナイン」	随想を読み、文章の構成・展開、表現の方法を理解するとともに作者のものの見方・考え方の特色について考察を深めます。小説では、文体や構成、展開、登場人物の心情描写等に注目し、的確に内容を読み取る力を養います。 文学的な文章を読解する力を育み、共感する力や想像力を豊かにします。
2学期 ○第一章昭和初期の小説「山椒魚」 ○第一章昭和初期の小説「水仙」 ○第一章大正の小説「こころ」	様々な優れた文章に触れることで、表現の特色や面白さを理解し、表現する力を・伝える力を養います。 登場人物の言動や心の動き、描写の面白さ等を読み味わうとともに、自己の人生についても考え、理解を深めます。
3学期 ○第一章昭和後期の小説「三月の風」 ○第一章詩歌「詩歌 永訣の朝」 ○第一章古典と現代語訳「源氏物語」	時代やジャンルを超えて、多様な作品に触れることで日本の歴史や文化、伝統を多角的・多元的にとらえる姿勢を養い、思考力を培います。 詩の構成やリズムを理解し、読解力・鑑賞力を高めます。また、自ら創造し表現することを目指します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	論理国語	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 5教科
単位数	2単位	教科書	論理国語（第一学習社）				
副教材	常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） 論理的に考える LT現代文3（浜島書店）						

学習目標	学習を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めます。また、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身に付けるとともに、読書に親しむ態度を養い、他者や社会に対する関心を育みます。
学習の方法	授業を中心に、教科書、学習プリント、小テスト等を活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けます。内容の理解のみに偏るのではなく、思考や表現の深まりを重視し、論理的な文章の読解を進めていきます。現代社会について考え、自分のものの見方や考え方を広げ、発信する姿勢を養いましょう。さらに、副教材の演習問題に取り組み、学んだことの定着を図ります。授業の予習・復習に意欲的に取り組んでください。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、小テスト、提出物 【思考・判断・表現】定期考査、提出物、発表 【主体的に学習に取り組む態度】提出物、授業中の発言、授業態度

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	人間という中心と、それよりも〈軽い命〉 身体の個別性 いのちのかたち リスク社会とは何か	自己のあり方について、他者との関わりという視点から考えを深めます。 対比的に表現することの効果について理解を深めます。 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する力を身に付けます。
2学期	コスモポリタニズムの可能性 目に見える制度と見えない制度 「である」ことと「する」こと	社会的な話題について書かれた文章を読んで、その内容を基に自分の考えをまとめる力を身に付けます。 自己の存在について、身体や言語といった視点から理解を深めます。 具体例を考えながら、筆者の主張を吟味・検討する力を身に付けます。
3学期	現代日本の開化	時間や歴史のとらえ方について、考えを深めます。 教科書全体を振り返り、自分の考えを表現する方法について理解を深めます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	論理国語	学年	第 6 学年	類型	ヒューマンティーズ 3 教科
単位数	3 単位	教科書	論理国語（第一学習社）				
副教材	常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） 論理的に考える LT現代文3（浜島書店）						

学習目標	学習を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めます。また、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身に付けるとともに、読書に親しむ態度を養い、他者や社会に対する関心を育みます。
学習の方法	授業を中心に、教科書、学習プリント、小テスト等を活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けます。内容の理解のみに偏るのではなく、思考や表現の深まりを重視し、論理的な文章の読解を進めていきます。現代社会について考え、自分のものの見方や考え方を広げ、発信する姿勢を養いましょう。さらに、副教材の演習問題に取り組み、学んだことの定着を図ります。授業の予習・復習に意欲的に取り組んでください。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、小テスト、提出物 【思考・判断・表現】定期考査、提出物、発表 【主体的に学習に取り組む態度】提出物、授業中の発言、授業態度

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	人間という中心と、それよりも〈軽い命〉 身体の個別性 いのちのかたち リスク社会とは何か	自己のあり方について、他者との関わりという視点から考えを深めます。 対比的に表現することの効果について理解を深めます。 情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する力を身に付けます。
2学期	コスモポリタニズムの可能性 目に見える制度と見えない制度 「である」ことと「する」こと	社会的な話題について書かれた文章を読んで、その内容を基に自分の考えをまとめる力を身に付けます。 自己の存在について、身体や言語といった視点から理解を深めます。 具体例を考えながら、筆者の主張を吟味・検討する力を身に付けます。
3学期	現代日本の開化	時間や歴史のとらえ方について、考えを深めます。 教科書全体を振り返り、自分の考えを表現する方法について理解を深めます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	論理国語	学年	第 6 学年	類型	サイエンス
単位数	2 単位	教科書	論理国語（第一学習社）				
副教材	常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） 論理的に考える L T 現代文 3（浜島書店）						

学習目標 学習を通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的、批判的、創造的に考える力を伸ばし、言葉で伝え合う力を高めます。また、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身に付けるとともに、読書に親しむ態度を養い、他者や社会に対する関心を育みます。

学習の方法 授業を中心に、教科書、学習プリント、小テスト等を活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けます。内容の理解のみに偏るのではなく、思考や表現の深まりを重視し、論理的な文章の読解を進めていきます。現代社会について考え、自分のものの見方や考え方を広げ、発信する姿勢を養いましょう。さらに、副教材の演習問題に取り組み、学んだことの定着を図ります。授業の予習・復習に意欲的に取り組んでください。

評価の仕方 観点別評価規準に基づいて評価します。
【知識・技能】 定期考査、小テスト、提出物
【思考・判断・表現】 定期考査、提出物、発表
【主体的に学習に取り組む態度】 提出物、授業中の発言、授業態度

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	人間という中心と、それよりも〈軽い命〉	自己のあり方について、他者との関わりという視点から考えを深めます。
	1 身体の個性	対比的に表現することの効果について理解を深めます。
	いのちのかたち	情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する力を身に付けます。
2 学期	リスク社会とは何か	社会的な話題について書かれた文章を読んで、その内容を基に自分の考えをまとめる力を身に付けます。
	コスモポリタニズムの可能性	自己の存在について、身体や言語といった視点から理解を深めます。
	目に見える制度と見えない制度	具体例を考えながら、筆者の主張を吟味・検討する力を身に付けます。
3 学期	「である」ことと「する」こと	時間や歴史のとらえ方について、考えを深めます。
	現代日本の開化	教科書全体を振り返り、自分の考えを表現する方法について理解を深めます。

備考

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	文学国語	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2単位	教科書	文学国語（第一学習社）				
副教材	論理的に考えるLT現代文3（浜島書店） 常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） 新版日本文学史必携（第一学習社）						

学習目標	文学的な文章を理解するための基礎的・基本的な知識と読解力を身に付けていきます。言語文化に対する興味・関心を育むだけでなく、自らのものの見方や感じ方、考えを深め、思考力を身に付けます。文学作品を主体的に読むことで感性を磨き、共感する力や的確に表現する力を育みます。
学習方法	授業を中心に、教科書、副教材、プリント、小テストを活用して、基礎的・基本的な知識を身に付けていきます。内容の理解と鑑賞のみに偏らず、登場人物や作者の考え方や生き方にも注目し、読みを深めます。 また、特徴的な表現や印象深い表現についても理解し、自らの表現力の向上を目指しましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、小テスト、提出物 【思考・判断・表現】定期考査、提出物、発表 【主体的に学習に取り組む態度】提出物、授業中の発言、授業態度

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	随想（二） 「わからないからおもしろい」 現代の小説（二） 「棒」 随想（二） 「もしも、詩があったら」 現代の詩	随想を読み、文章の構成・展開、表現の方法を理解するとともに、日常生活に異なる視点を投げかける創作者の立場や見方について考えます。 小説を読み、作品に込められた風刺や現実世界への批判的精神を学び取ります。 3編の詩を読み、近代詩から現代詩への形式や言葉の遣い方、思想や主題の変化を追います。
2学期	近代の小説（三） 「枯野抄」 現代の小説（二） 「骰子の七の目」	小説における場面の描写を表現に即して捉え、登場人物の心情を理解します。人生や他者に対する考察を深めます。 誇張された作品世界を通じて、日常生活を顧みます。また、奇妙でありながらもリアリティを醸し出す、創作の妙を味わいます。
3学期	戦争と文学（二） 「夏の花」	出来事の進行を丁寧にたどり、主人公や周囲の人々の状況を捉えます。また、描写のしかたや表現の工夫、構成のされ方などにも注目し、その効果について考えを深めます。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	国語	科目	古典探究	学年	第 6 学年	類型	共通
単位数	2 単位	教科書	精選 古典探究（第一学習社）				
副教材	古文単語パレット345（浜島書店）・新版 日本文学史必携（第一学習社） 体系古典文法 九訂版（数研出版）・体系古典文法準拠ノート四訂版（数研出版） 必携 新明説漢文（尚文出版）・必携 新明説漢文ノート修訂版（尚文出版） 錬成 古典 大学入学共通テスト対策新装二版（尚文出版）						

学習目標	古典を学ぶことを通して、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めます。また、先人のものの見方、感じ方、考え方に触れ、自分の思いや考えを広めたり深めたりすることができるようにします。古典文学作品に加え、現代の評論やエッセイを読むことで、作品の理解を深めます。
学習方法	授業を中心に、教科書、副教材、学習プリント、小テスト等を活用して、古文・漢文に関する知識と読解力、思考力を身に付けます。時代背景を踏まえたり、関連する作品との読みのみ比べをしたりして、理解を深めましょう。古典作品に用いられている言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解するため、音読を大切に、授業の予習・復習に意欲的に取り組んでください。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、小テスト、提出物 【思考・判断・表現】定期考査、提出物、発表 【主体的に学習に取り組む態度】提出物、授業中の発言、授業態度

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	〈古文〉 説話（二） 随筆（三） 〈漢文〉 逸話 史記の群像	説話の語り方の特徴や、基本的な助動詞について理解します。随筆を読み、当時の宮廷生活に関する理解を深めます。 訓読のきまりについて理解を深めるとともに、現代にも通用する教訓を学びます。登場人物の生き方や考え方を読み取り、史伝のおもしろさを味わいます。
2学期	〈古文〉 物語（五） 評論（一） 〈漢文〉 諸家の文章 史記の群像	歴史物語を読み、人物相互の関係性、語り手の目的などについて考えを深めます。歌論を読み、文章の内容・構成を的確に捉えるとともに、ものの見方や考え方を深めます。 漢文特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確にとらえる方法を学びます。歴史上の人物の描き方を読み取り、ものの見方や考え方を深めます。
3学期	〈古文〉 物語（六） 〈漢文〉 漢詩の鑑賞	王朝文学の系譜に連なる物語を読み、古典への興味を広げます。 中国の古典が日本の文学や文化にいかに関与してきたかについて、改めて考えます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	歴史総合	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	「歴史総合」（実教出版）				
副教材	「歴史総合 演習ノート」（実教出版）						

学習目標	近現代史における「世界との中の日本」を広く相互的な視野から捉えながら、①歴史を理解する力、②歴史に関する様々な情報を適切に調べてまとめる力、③歴史事象の意味や特色について多面的・多角的に考察して説明・議論できる力、④近現代史の事象についてより良い社会の実現のために探究する態度、⑤日本国民としての自覚・自国の歴史への愛情・他国や他国の文化を尊重することの大切さの自覚一等の資質・能力を育成します。
学習の方法	教科書準拠「歴史総合 演習ノート」（実教出版）を使用し、学習活動を行います。 定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。 長期休業等で出される課題や課題の確認テストで学習内容の復習を繰り返し行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動 第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 第4章 帝国主義の時代	日本の安定と動揺、ヨーロッパのアジア進出と争い 国民国家を形成する欧米、変容をせまられるアジア諸国 国民国家の成立と世界各地での民族的な抵抗 帝国主義による世界分割の動きとアフリカ・東アジア・太平洋
2 学期	第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 第6章 経済危機と第二次世界大戦	第一次世界大戦の展開と影響、大戦後の国際秩序の形成 第二次世界大戦へ向かう動きと大戦後にはじまった東西冷戦
3 学期	第3編 グローバル化と私たち 第7章 冷戦と脱植民地化 第8章 多極化する世界 第9章 グローバル化と現代世界	冷戦の深刻化と植民地の独立や日本の主権回復に与えた影響 米ソ二大国主導から多極化、国際秩序の変化 世界が、そしてあなたたちが直面している課題

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	世界史探究	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	3単位	教科書	詳説世界史探究（山川出版社）				
副教材	プロムナード世界史（浜島書店） 新世界史研究ノート応用編（啓隆社）						

学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察します。 また、歴史学習を通じて、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる国際人としての自覚と資質を養います。
学習の仕方	授業を中心に教科書、図説、プリントを活用して世界の歴史の流れを整理・理解していきます。 人名や事件の名称を単に暗記するのではなく、歴史事象の背景や結果とその影響などを総合的に理解・考察していくことが大切です。 定期考査ごとに学習内容をまとめ、知識の整理をはかることが必要です。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	四大文明のほか南北アメリカ文明、東南アジアの古代の諸文明を学習します。 東アジアについては、秦漢帝国の成立までを中央ユーラシアを舞台に展開された遊牧民の世界との関わりを通して学習します。 古代インド世界については、仏教とのかかわりを通して学習します。 古代地中海世界については、ローマ帝国の成立までのギリシア・ローマ世界について学習します。
2 学期	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	遊牧民とオアシス民の活動や、元朝による南宋の征服にいたるまでの東アジアの歴史を、中国を中心に、朝鮮や日本の周辺国家の形成と関連付けて学習します。 7世紀のイスラーム世界の成立から15世紀ころまでのイスラーム世界の拡大について学習します。 西ローマ帝国滅亡後の、中世とよばれる時代について、フランク王国、封建社会、十字軍等を学習します。 モンゴル部族によるユーラシア大陸の支配と、中央アジアにおけるトルコ化とイスラーム化について学習します。
3 学期	第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄	大航海時代、ルネサンス、宗教改革について学習します。 ヨーロッパ諸国の海外進出と重商主義、17～18世紀のヨーロッパの文化と社会について学びます。14～18世紀頃までのアジア諸地域について、各国の興亡を中心に学習します。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	地理総合	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	「新地理総合」（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）				
副教材	「地理総合演習ノート」（啓隆社）、地理統計要覧（二宮書店）、新編地理資料（東京法令出版）						

学習目標	現代世界の世界的知識を深め、系統地理的、地誌的な探究の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付けます。また、地図帳の利用の仕方を身に付け、地球的視野から現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養います。
学習の方法	『地理総合演習ノート』（啓隆社）を使用し、学習活動を行います。 定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。 長期休業等で出される課題や課題の確認テストで学習内容の復習を繰り返し行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察

			学習計画及び内容
		単元	主な学習内容
1 学 期	第1部	地図でとらえる現代世界	球体としての地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や、時差の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身に付けます。 地理情報の統計地図化などの活動を通して、地図の有用性に気付き、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身に付けます。 今昔マップ on the web を操作することで地理情報システムの特徴を把握します。
	第1章	地図と地理情報システム	
2 学 期	第2部	結び付きを深める現代世界	写真や具体例を用いて、文化と宗教、人々の暮らし、その多様性について理解します。 雨温図を読み取り、気候区ごとの特徴を理解します。 写真や主題図を用いて、世界の食文化の多様性と農業の地域性について考察します。 熱帯林破壊や砂漠化によってもたらされた問題を踏まえ、問題解決の在り方について追究します。
	第1章	国際理解と国際協力 生活文化の多様性と国際理解	
3 学 期	第2部	持続可能な地域づくりと私たち	日本列島の地帯構造とプレートの境目の主題図を用いて、日本の地形の特性について考察します。 地形の特性と自然災害との関係性について、主題図や衛星画像などを用いて考察します。 地震や津波の発生メカニズムについて模式図を用いて考察します。 自宅もしくは学校周辺地域のハザードマップを用いながら災害時に取るべき避難行動について考察します。
	第1章	自然環境と防災	
3 学 期	第2部	生活圏の調査と地域の展望	
	第2章	生活圏の調査と地域の展望	
備考			

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	日本史探究	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	3単位	教科書	詳説日本史 改訂版（山川出版社）				
副教材	新詳日本史（浜島書店）・要点整理　ゼミナール日本史（浜島書店）						

学習目標	私たちの国の歴史がどのように展開してきたのかを、地理的な条件や世界の歴史との関連の中で考えます。そして、私たちの国の伝統と文化の特色について、しっかりと理解するとともに、「どういう原因（背景）」があったために「何が起こり」、そのため「結果としてどうなったか。」を、自分自身で考え、他の人に伝えることができる力を身に付けます。その過程で、国際社会の中で、主体的に生きる資質を養うことを目標としています。
学習方法	まずは、基本的な用語を確実に理解しましょう。授業中に必ず説明があります。その用語が教科書のどこに書かれているかを確認しましょう。その時、前後の文章を合わせて読みましょう。一つの単元が終わったら、通して教科書を読みましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学 期	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開	地球環境の変化により日本列島が成立し、大陸文化を受容しながらも独自の文化的発展を遂げていった過程について学習します。 ヤマト政権と古墳との関係やヤマト政権が大陸とどのような交渉をもったのかを学習します。 中国に強力な統一王朝が誕生したことにより、我が国も国家組織の形成を進める必要が生じたことを理解し、その中央集権化の過程と特色について学習します。 藤原氏による摂関政治の展開と、文化の国風化について学習します。また、律令体制の行き詰まりから地方政治が大きく変化していく中で、武士が台頭していく過程についても考察します。
2 学 期	第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長	院政がどのように始まったのかを考察するとともに、その後の平氏の台頭について学習します。 鎌倉幕府の成立・発展と衰退の過程について、当時の対外関係も踏まえながら学習します。 武家社会の変化を背景とした、鎌倉幕府滅亡後の権力争いについて学習します。
3 学 期	第Ⅲ部 近世 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開	ヨーロッパ人の東アジア進出について考察するとともに、織田信長から豊臣秀吉に至る天下統一の過程を学習します。 江戸幕府成立までの流れと幕藩体制が確立されていく中で発展した諸産業と、制限された対外関係について学習します。
備 考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	世界遺産探究	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2単位	教科書	『世界遺産で取り組む探究学習』（マイナビ出版）				
副教材							

学習目標	1	世界遺産がこれまでの人類や地球の歴史の中でどのように形成され世界遺産として登録されたかを、登録基準をもとに総合的に理解します。
	2	諸資料から個々の世界遺産に関する様々な情報を調べ、まとめる技能や表現力を高めます。
	3	自然の偉大さや人類の英知について崇敬の念を抱くとともに、危機遺産を後世に残そうと主体的に取り組む態度を身に付けます。
学習の方法	1	配布された資料があるときはよく読み、重要語句や分からない語句は調べておきます。
	2	集中して作業学習に取り組み、説明をよく聞き、学習内容をよく理解します。
	3	学習した内容を見直して理解し、重要語句は数回ノート等へ書き、理解を確実にします。
評価の仕方	観点別評価基準に基づいて評価します。	
	【知識・技能】定期テスト、小テスト	
	【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察	
	【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察	

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	1 世界遺産を知ろう ・世界遺産の必要性 ・世界遺産の普遍的価値 ・世界遺産の登録基準	・世界遺産の普遍的価値について、登録基準を通して理解し、世界遺産の必要性について理解します。
	2 様々な視点から世界遺産を探究しよう ・歴史・宗教的視点	・世界遺産を通して、歴史や宗教の諸問題について探究します。
2学期	・人道的視点 ・環境・資源的視点 ・生物的視点 ・文学・芸術的視点 ・危機遺産的視点	・世界遺産を通して、文学、絵画、神話、建築、世界政治、平和問題、気候変動、環境問題、観光、資源、災害復興、都市開発等の諸問題について探究します。
3学期	3 身近な世界遺産候補を探して ・身近な世界遺産候補	・世界遺産の普遍的価値に照らし合わせて、身近な自然・歴史遺産を再評価します。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	世界史探究	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	3単位	教科書	詳説世界史探究 改訂版（山川出版社）				
副教材	プロムナード世界史（浜島書店） 詳説世界史10分間テスト世界史探究 新世界史研究ノート〔応用編〕（啓隆社）						

学習目	世界の歴史の大きな枠組みと流れを日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察します。
目標	また、歴史学習を通じて、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる国際人としての自覚と資質を養います。
学習方	授業を中心に教科書、図説、プリントを活用して世界の歴史の流れを整理・理解していきます。人名や事件の名称を単に暗記するのではなく、歴史事象の背景や結果とその影響などを総合的に理解・考察します。
方法	年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、「10分間テスト」（山川出版社）などを活用して知識の整理をはかります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、授業中の発言

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 主権国家体制の特色と、それを形成したヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を学びます。 第12章 産業革命と環大西洋革命 産業革命の背景と展開、アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を学習します。 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 ウィーン体制の成立と、自由主義とナショナリズムの運動、国民国家の形成過程を学習します。 第14章 アジア諸地域の動揺 欧米諸国のアジアへの干渉と植民地化への動きと、アジアのナショナリズムの萌芽を学習します。 第15章 帝国主義とアジアの民族運動 帝国主義時代における欧米諸国の世界分割をめぐる競合と、世界の一体化と社会の変容を学習します。
2 学期	第16章 第一次世界大戦と世界の変容 第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序の変化をもたらしたこと、第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを学習します。 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂したこと、A・A諸国の躍進、日本・西欧の高度経済成長を学習します。 第18章 冷戦と第三世界の台頭 軍縮と緊張緩和による冷戦の解消、市場経済の世界化が進み、地球規模での相互依存の高まりを学習します。 第19章 冷戦の終結と今日の世界 大学入試問題等を利用して、学習した内容を確認し、理解を深めます。 主題学習 発展的な学習
3 学期	大学入試への対策 進路目標の実現を図るため、大学入学共通テストや国公立大学の個別学力試験、私立大学の入試などへの対策を行います。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	地理総合	学年	第6 学年	類型	ヒューマンティーズ
単位数	2 単位	教科書	「高校生の地理総合」（帝国書院）				
副教材	「高校生の地理総合ノート」（帝国書院）、新編地理資料（東京法令出版）						

学習目標	現代世界の世界的知識を深め、系統地理的、地誌的な探究の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方、地理的技能を身に付けます。また、地図帳の利用の仕方を身に付け、地球的視野から現代世界の諸課題について主体的に考え、行動する自覚と態度を養います。
学習の方法	『高校生の地理総合ノート』（帝国書院）を使用し、学習活動を行います。 定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。 長期休業等で出される課題や課題の確認テストで学習内容の復習を繰り返し行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結び付きを深める現代世界	球体としての地球の特徴を捉え、球体を地図に表現した場合の特性や、時差の求め方を通して、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身に付けます。 地理情報の統計地図化などの活動を通して、地図の有用性に気付き、現代世界の地理的事象を捉える地理的技能を身に付けます。 今昔マップ on the web を操作することで地理情報システムの特徴を把握します。
2学期	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 第2章 地球的課題と国際協力	写真や具体例を用いて、文化と宗教、人々の暮らし、その多様性について理解します。 雨温図を読み取り、気候区ごとの特徴を理解します。 写真や主題図を用いて、世界の食文化の多様性と農業の地域性について考察します。 熱帯林破壊や砂漠化によってもたらされた問題をふまえ、問題解決の在り方について追究します。
3学期	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	日本列島の地帯構造とプレートの境目の主題図を用いて、日本の地形の特性について考察します。 地形の特性と自然災害との関係性について、主題図や衛星画像などを用いて考察します。 地震や津波の発生メカニズムについて模式図を用いて考察します。 自宅もしくは学校周辺地域のハザードマップを用いながら災害時に取るべき避難行動について考察します。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	地理探究	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	3単位	教科書	新詳地理探究（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）				
副教材	新要点ノート（啓隆社）、新編地理資料（東京法令出版）、地理統計要覧（二宮書店）						

学習目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことを目標としています。
学習の方法	授業を中心に教科書、資料集、地図帳、データブックを活用して地理的技能の向上を目指し、「地理的なものの見方・考え方」を習得していきます。 地名や事象名を単に暗記するのではなく、成立の原因や影響などを総合的に理解・考察していくことが大切です。 年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、ワークブックなどを活用して知識の整理をはかる必要があります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第1章 自然環境 1節 地形 2節 気候 3節 地球環境問題 第2章 資源と産業 1節 農林水産業 2節 食料問題 3節 エネルギー・鉱業資源 4節 工業	地形に関わる諸事象をもとに、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりに着目して、地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察します。気候要素と因子の関係からその成り立ちを考察し、それぞれの気候区の特徴と人間生活への影響を考察します。農業地域区分や、現代世界の農林水産業の現状と課題、及び世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察します。工業の発達や立地、世界の工業地域や、世界の工業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考察します。
2 学期	第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 第4章 人口、村落・都市 1節 人口 2節 都市・居住問題 第5章 生活文化、民族と宗教 1節 衣食住 2節 民族、宗教 第6章 現代世界の諸地域	村落と都市について、村落・都市の立地や発達・機能や、日本の都市の特徴を考察します。生活文化について、衣食住を取り上げ、それらの分布や地域的差異と世界的な画一化について学習します。民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察します。 地誌的に考察する方法として、多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法、特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察する方法、対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解して、それぞれの地域を地誌的に考察します。
3 学期	大学入試への対策	進路目標の実現を図るため、大学入学共通テストなどへの対策を行います。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	日本史探究	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	3単位	教科書	詳説日本史 改訂版（山川出版社）				
副教材	新詳日本史（浜島書店）・要点整理 ゼミナール日本史（浜島書店）						

学習目標	私たちの国の歴史がどのように展開してきたのかを、地理的な条件や世界の歴史との関連の中で考えます。そして、私たちの国の伝統と文化の特色について、しっかりと理解するとともに、「どういう原因（背景）」があったために「何が起こり」、そのため「結果としてどうなったか。」を、自分自身で考え、他の人に伝えることができる力を身に付けます。その過程で、国際社会の中で、主体的に生きる資質を養うことを目標としています。
学習方法	5年生で学んだ内容をもとに、さらに詳しく学習します。 まずは、基本的な用語を確実に理解しましょう。授業中に必ず説明があります。その用語が教科書のどこに書かれているかを確認しましょう。その時、前後の文章を合わせて読みましょう。一つの単元が終わったら、単元を通して教科書を読みましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第Ⅲ部 近世 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 第Ⅳ部 近代・現代 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立	国内や国際的な状況の変化から幕藩体制が変容し、近代（明治時代）を迎えたことを学習します。 明治維新以降の近代化の推進過程を、国内外の政治の動向や思想・文化に着目しながら考察します。
2 学期 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本 課題学習	国際社会の中の日本の立場に着目して、二度の世界大戦が我が国やアジア諸国の経済や社会に与えた影響を学習します。 占領下の改革、高度成長を経て、現在の日本に至っていることを理解し、これからの日本の在り方について考察します。 大学入試問題等を利用して、学習した内容を確認し、理解を深めます。
3 学期 課題学習	進路目標の実現を図るため、大学入学共通テストや国公立大学の個別学力試験、私立大学の入試などへの対策を行います。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	愛媛の歴史	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	1単位	教科書	『高校生のための「愛媛県史」学習資料集』（愛媛県教育委員会）				
副教材							

学習目標	1 地域社会がどのように形成され発展してきたかを、地域の自然条件や政治的、経済的諸条件と関連付けて総合的に理解します。
	2 諸資料から愛媛の歴史に関する様々な情報を調べ、まとめる技能や表現力を高めます。
	3 ふるさと愛媛に対する愛着の心を育み、主体的に地域社会の形成に関わろうとする態度を身に付けます。
学習の方法	1 配布された資料があるときはよく読み、重要語句や分からない語句は調べておきます。
	2 集中して作業学習に取り組み、説明をよく聞き、学習内容をよく理解します。
	3 学習した内容を見直して理解し、重要語句は数回ノート等へ書き、理解を確実にします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の取組、授業中の発言・行動観察

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	1 愛媛と今治の自然と地理 ・自然・地理的環境 ・地政学からの視点	・愛媛と今治の自然や地理などについて、その特徴の背景や変化の理由を理解し、人々の生活や歴史にどのような影響があったのかを考察します。
	2 伊予の歴史と今治 ・原始から古代 ・中世から愛媛の戦国時代と伊予八藩	・愛媛の遺跡や地元の古墳などから、生活や文化等を理解します。また、律令制下の伊予国に着目し、中央との関係を考察します。 ・元寇や守護大名・戦国大名に焦点を当てて理解します。
2 学期	・近世今治の発展 ・明治維新からの近代化 ・タオル産業と今治 ・愛媛と戦争	・享保の飢饉や飢饉対策での甘藷栽培などを通じて伊予八藩のそれぞれの特徴を理解し、中央の出来事についての諸般の動向について考察します。 ・幕末からの愛媛諸藩の藩政改革や、明治における近代化について理解し、愛媛がそのような影響を受けたのかを考察します。また、愛媛県出身の人物がどのような活躍をしたのかをレポートにまとめ発表します。
	3 愛媛の文化財 ・愛媛の文化財の歴史的背景と保護	・明治以降の対外戦争を中心に、愛媛がどのような影響を受けたのかを理解するとともに戦後復興から現代社会の動向を考察します。 ・愛媛の文化財について着目し、それらに関係する歴史を考察します。
3 学期	・愛媛の文化財の活用	・現代の愛媛について理解し、そこで見られる課題を追及、解決しようとする態度を身に付けます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	地理歴史	科目	現代史特講	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	1単位	教科書	『外交青書2025』（外務省）				
副教材							

学習目標	1 現代の国際社会がどのように形成され発展してきたかを、歴史的背景や政治的、経済的諸条件と関連付けて総合的に理解します。
	2 諸資料から世界の各地域情勢に関する様々な情報を調べ、まとめる技能や表現力を高めます。
	3 日本と国際社会の平和と安定に向け、主体的に世界とのつながりを求めようとする態度を身に付けます。
学習の方法	1 配布資料をよく読み、重要語句や分からない語句は調べておきます。
	2 集中して作業学習に取り組み、説明をよく聞き、学習内容をよく理解します。
	3 学習内容を見直して、重要語句を繰り返し書いて、確実に理解します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、授業中の発言

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	1 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 2 冷戦と第三世界の台頭 3 冷戦の終結と今日の世界 ・世界恐慌をきっかけに国際関係が緊張し、第二次世界大戦へと至る過程を理解します。また、戦後に設立された国際連合の特徴や米ソを中心とした東西両陣営の対立の背景を考察します。 ・1940年代末以降の冷戦の本格化により、世界の多くの地域が東西両陣営に組み込まれていく過程と、第三世界と呼ばれる新興諸国が台頭していった過程を理解します。また、冷戦下において新たに生じた問題に対する国際社会の対応について考察します。 ・1970年代以降の産業構造の変容を経て、90年代初めまでに冷戦が終結する過程を理解します。また、今日の世界が多極化する中で、地域紛争・宗教対立が頻発する原因と解決方法を考察します。
2 学期	4 国益と世界全体の利益を増進する外交 ・日本と国際社会の平和と安定に向けた取組について、安全保障、軍縮、人権、ジェンダー平等、女性のエンパワーメントの観点から考察します。 ・日本の国際協力について、開発協力、地球規模課題への取組、科学技術外交について、レポートにまとめて発表します。 ・経済外交について、国際会議における日本の議論から概観します。 ・日本への理解と信頼の促進に向けた取組について、戦略的な対外発信、文化・スポーツ・観光の観点から考察します。
3 学期	・地域課題の解決に向けて、日本がとるべき外交についての考察を通して、主体的に地域の課題を追及、解決しようとする態度を身に付けます。
備考	

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	公民	科目	公共	学年	第5学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	高等学校 公共（第一学習社）				
副教材	最新公共資料集（第一学習社）・公民科ワークブック公共編（愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会公民部門編）・ニューコンパス 公共（とうほう）						

学	社会に関する基本的な問題を多面的・多角的にとらえて、グローバル化の進展を視野に入れながら学んでいきます。
習	社会事象について考察する基本的な枠組みを習得し、国際社会や地域社会で起こる諸課題の解決に主体的に参画する能力を育てます。
標	国際社会や地域社会に対する関心を高め、良識ある公民として必要な能力と態度を養い、公共性や主体性などの人格の形成を目指します。
学	授業を中心に教科書や資料集・副教材を活用しながら、現代社会の事象を倫理・政治・経済・国際社会など多様な角度から理解していきます。
の	用語の名称を単に暗記するのではなく、現代の諸課題を自分自身の課題に置き換えて、主体的に学習に取り組むことで考察を深めます。
方	年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、ワークブックを活用して知識の整理をはかります。
評	観点別評価規準に基づいて評価します。
価	【知識・技能】定期テスト、小テスト
の	【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察
仕	【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察
方	

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間を作る私たち 第2章 公共的な空間における人間としての在り方 第3章 公共的な空間における基本的原理	青年期やキャリア形成について学び、考察します。 環境問題や生命倫理について学び、判断するための価値観を身に付けていきます。 民主主義の基本原則について学び、よりよい意思決定について考察していきます。
2 学期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 第2章 政治的な主体となる私たち 第3章 経済的な主体となる私たち	法の意義や種類について学び、自分たちの生活と関連付けながら主体的に考察を深めます。 選挙の意義や地方政治について学習を進め、主権者としての政治参加について思索します。 金融や経済の機能や役割を学び、諸課題について理解を深めます。
3 学期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	持続可能な社会を形成するために、ケーススタディを通して、社会に参画する知恵や姿勢を身に付けます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	公民	科目	政治・経済	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2単位	教科書	高等学校 政治・経済（清水書院）				
副教材	最新政治・経済資料集 新版（第一学習社）						

学	現代社会の基本的な問題を多面的・多角的にとらえて、グローバル化の進展を視野に入
習	れながら学んでいきます。
目	現代社会を考察する基本的な枠組みを習得し、様々な問題に対して公正に判断する能力
標	を育てていきます。
	現代社会に対する関心を高め、良識ある公民として必要な能力と態度を養い、主体的に
	問題に取り組む人格の形成を目指します。
学	授業を中心に教科書や資料集・プリントを活用しながら、現代社会の事象を政治・法・
習	経済・国際社会など多様な角度から理解していきます。
の	用語の名称を単に暗記するのではなく、現代の諸課題を自分自身の課題に置き換えて、
方	主体的に学習に取り組むことで考察を深めます。
法	年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、ワークブックを活用して知識の整理をはか
	ります。
評	観点別評価規準に基づいて評価します。
価	【知識・技能】定期テスト、小テスト
の	【思考・判断・表現】定期テスト、課題の取組、授業中の行動観察
仕	【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組、授業中の発言・行動観察
方	

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学 期	第1編 現代日本の政治・経済	基本的人権の獲得の歴史を学習し、民主主義の精神を身に付けていきます。
	第1章 現代政治のしくみと日本	日本国憲法・国会・内閣・裁判所・地方自治についての基本的な知識を定着させます。
	第2章 現代経済のしくみと日本	市場経済の基本的な仕組みを理解し、財政・金融の機能と役割について学習をすすめ、労働・消費者問題など日本が抱える経済問題について思索します。
2 学 期	第3章 現代日本の諸課題	主権国家と国際法を学び、冷戦終結後の国際社会における国連の役割や地域紛争・領土問題について身近な問題と関連付けながら主体的に考察を深めます。
	第2編 現代の国際政治・経済 第1章 現代の国際社会と政治	
3 学 期	第2章 現代の国際社会と経済	貿易の仕組みを学び、自由貿易のあり方や地域的経済統合などについて理解を深めます。
	第3章 国際社会の諸課題	

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅰ	学年	第4学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	新編 数学Ⅰ（数研出版）				
副教材	新課程 教科書傍用 クリアー数学Ⅰ＋A（数研出版） NEW ACTION FRONTIER -理解と思考- 数学Ⅰ＋A（東京書籍）						

学習目標	集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析の考え方について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確かつ正確に活用する能力、態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題に取り組むことで技能を定着させます。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の復習に取り組むことで学習内容を実に定着させます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学 期	第2章 集合と命題	集合と命題に関する基本的な概念を理解します。
	第3章 2次関数	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識し、それらを事象の考察に活用します。
	第1節 2次関数とグラフ	
	第2節 2次関数の値の変化	
2 学 期	第3節 2次方程式と2次不等式	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用します。
	第4章 図形と計量	
	第1節 三角比	
	第2節 三角形への応用	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握します。
3 学 期	第5章 データの分析	

備考	各定期考査までに、数学ⅠまたはⅡと数学Aは直列方式で授業を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第4学年	類型	共通
単位数	1単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	新課程 教科書傍用 クリアー数学Ⅱ＋B（数研出版） NEW ACTION FRONTIER -理解と思考- 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	式と証明、複素数と方程式の考え方について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確かつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題に取り組むことで技能を定着させます。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の復習に取り組むことで学習内容を実に定着させます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期		
2学期		
3学期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	3次の乗法公式や因数分解、及び整式の除法や分数式の四則演算について理解し、それらの計算をします。 等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明します。 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算をします。また、2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解します。 因数定理について理解し、それらを用いて簡単な高次方程式を解きます。

備考	各定期考査までに、数学ⅠまたはⅡと数学Aは直列方式で授業を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学A	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	新編 数学A（数研出版）				
副教材	新課程 教科書傍用 クリアー I + A（数研出版） NEW ACTION FRONTIER -理解と思考- 数学 I + A（東京書籍）						

学習目標	場合の数と確率、図形の性質の考え方について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確かつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学と人間の活動について、数学的活動を通して、それらを論理的に考察できるようにします。 数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題に取り組むことで技能を定着させます。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の復習に取り組むことで学習内容を確実に定着させます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	場合の数についての基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用します。 具体的な事象の考察を通じて順列及び組合せについて理解し、それらの総数を求めます。
2学期	第1章 場合の数と確率 第2節 確率 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	独立な試行や条件付き確率の意味を理解し、その確率を求めます。また、それを事象の考察に活用します。 平面図形や空間図形についての理解を深め、それらを事象の考察に活用します。 三角形、円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明します。
3学期	第2章 図形の性質 第2節 空間図形	空間における直線や平面の位置関係についての理解を深めます。また、それを事象の考察に活用します。

備考	各定期考査までに、数学ⅠまたはⅡと数学Aは直列方式で授業を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 5教科
単位数	4単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域 章末問題	直線や円の方程式について学習し、円と直線の関係を調べます。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりを持った部分を表すことを理解します。
	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 章末問題	三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小が求められるようにします。加法定理を導いて活用し、2倍角の公式や半角の公式を導き、利用できるようにします。
2 学期	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 章末問題	指数を拡張し、指数関数を定義します。また、対数の意味と計算方法を理解し、対数関数を定義します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解きます。
	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法 章末問題	具体的な事象を通して微分・積分の考えを理解します。それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようにします。
3 学期	問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	各定期考査までに、数学Ⅱまたは数学Bを直列方式で学習を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	4単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	新課程 書き込み式シリーズ〔標準〕教科書傍用 Study-Upノート 数学Ⅱ（数研出版）						

学習目標	図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能に習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに、再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	直線や円の方程式について学習し、円と直線の関係を調べます。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりを持った部分を表すことを理解します。 三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小が求められるようにします。加法定理を導いて活用し、2倍角の公式や半角の公式を導き、利用できるようにします。
2 学期	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化	指数を拡張し、指数関数を定義します。また、対数の意味と計算方法を理解し、対数関数を定義します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解きます。 具体的な事象を通して微分の考えを理解します。それを用いて関数の値の変化を調べることができるようにします。
3 学期	第3節 積分法 問題演習	具体的な事象を通して積分の考えを理解します。それを用いて面積を求めることができるようにします。 問題演習を通して、知識の定着を図ります。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	3単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法の考えについて、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能に習熟し、定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。 週4時間で2学期末までに履修を終了します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	直線や円の方方程式について学習し、円と直線の関係を調べます。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりを持った部分を表すことを理解します。 三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小が求められるようにします。加法定理を導き、利用できるようにします。
2学期	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	指数を拡張し、指数関数を定義します。また、対数の意味と計算方法を理解し、対数関数を定義します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解きます。 具体的な事象を通して微分・積分の考え方を理解します。それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようにします。
3学期		

備考	各定期考査までに、数学Ⅱまたは数学Cと数学Bを直列方式で学習を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学B	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 5教科
単位数	2単位	教科書	新編 数学B（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	数列、統計的な推測について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 章末問題	数列の用語や記号を学習し、等差数列や等比数列などの代表的な数列及び数列の和に関する知識を身に付けます。和の記号Σを用いて数列の和を計算する方法や、漸化式で表される数列における一般項の求め方を学習し、また、数学的帰納法について考え方の特徴を理解します。
2学期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測 章末問題	標本調査の考え方や確率変数と確率分布、二項分布と正規分布の性質や特徴、正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解します。また、確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察します。
3学期	問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	各定期考査までに、数学Ⅱまたは数学Bを直列方式で学習を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学B	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科 選択数学
単位数	2単位	教科書	新編 数学B（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	数列、統計的な推測について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 章末問題	数列の用語や記号を学習し、等差数列や等比数列などの代表的な数列及び数列の和に関する知識を身に付けます。和の記号Σを用いて数列の和を計算する方法や、漸化式で表される数列における一般項の求め方を学習し、また、数学的帰納法について考え方の特徴を理解します。
2学期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測 章末問題	標本調査の考え方や確率変数と確率分布、二項分布と正規分布の性質や特徴、正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解します。また、確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察します。
3学期	問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	1・2学期末考査および学年末考査のみ試験を実施します。
----	-----------------------------

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学B	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	新編 数学B（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	数列、統計的な推測について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 章末問題	数列の用語や記号を学習し、等差数列や等比数列などの代表的な数列及び数列の和に関する知識を身に付けます。和の記号Σを用いて数列の和を計算する方法や、漸化式で表される数列における一般項の求め方を学習し、また、数学的帰納法について考え方の特徴を理解します。
2学期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測 章末問題	標本調査の考え方や確率変数と確率分布、二項分布と正規分布の性質や特徴、正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解します。また、確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察します。
3学期	問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	各定期考査までに、数学Ⅱまたは数学Cと数学Bを直列方式で学習を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学C	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	1 単位	教科書	新編 数学C（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学C（東京書籍）						

学習目標	ベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。 週4時間で3学期だけで履修を終了します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期	
2学期	
3学期	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形 章末問題 第2章 空間のベクトル 章末問題 ベクトルの基本的な概念や法則を理解し、その加法・減法など簡単な演算を学習します。また、ベクトルの内積とその性質について学習します。 位置ベクトルという考え方を導入し、線分の分点や図形の重心をベクトルで表します。またこの考え方を、図形問題に応用させる方法を学習します。 平面のベクトルの場合と同様に、空間のベクトルを定義します。そして空間における点・直線・平面とその相互関係を整理して、いろいろな事象の考察が空間のベクトルによってできることを理解します。

備考	各定期考査までに、数学Ⅱまたは数学Cと数学Bを直列方式で学習を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅲ	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	4単位	教科書	新編 数学Ⅲ（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅲ（東京書籍）						

学習目標	分数関数、無理関数、逆関数、合成関数、数列の極限、関数の極限、微分法、積分法について理解します。また、それらの内容の基礎概念を理解し、その基本的な知識や技能を習得します。知識や技能を的確に利用して問題解決を図る能力を養い、数学的な見方やものの考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	予習をしっかりとした上で授業に臨みましょう。授業で自分が疑問に思ったことや分からなかったことを解決し、復習を通して学んだ知識の定着を行いましょう。 副教材やプリント等で、問題演習を行い、問題を解く力や応用力を養い、定期考査でその成果を試しましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言 ※2学期の中間考査までの評価をもって、数学Ⅲの評価とします。

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 関数 第2章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限 第3章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 第4章 微分の応用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用	分数関数や無理関数のグラフの特徴を理解し、方程式や不等式に活用します。いろいろな数列の極限や数列の和の極限、関数の極限の概念や性質を理解し、極限を求められるようにします。 微分可能性と連続性の概念及びその関係を理解し、様々な関数における微分の演算・技法を習得します。また、高次導関数の概念を理解します。 様々な問題において、微分法を活用します。応用力を身に付けるとともに、グラフの概形をかけるようにします。また、速度、加速度の概念を理解します。
2学期	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用	扱う関数の対象を広げ、積分法の基礎を理解し、その計算を習得します。 いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の計算や回転体の体積の計算を求められるようにします。
3学期		
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学C	学年	第6学年	類型	ヒューマンティーズ 5教科
単位数	2単位	教科書	新編 数学C（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学C（東京書籍）						

学習目標	ベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟をはかり、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。 週5時間で1学期だけで履修を終了します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言 ※1学期の評価をもって、数学Cの評価とします。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形 章末問題 第2章 空間のベクトル 章末問題	ベクトルの基本的な概念や法則を理解し、その加法・減法など簡単な演算を学習します。また、ベクトルの内積とその性質について学習します。 位置ベクトルという考え方を導入し、線分の分点や図形の重心をベクトルで表します。またこの考え方を、図形問題に応用させる方法を学習します。 平面のベクトルの場合と同様に、空間のベクトルを定義します。そして空間における点・直線・平面とその相互関係を整理して、いろいろな事象の考察が空間のベクトルによってできることを理解します。
2学期	
3学期	

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学C	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	1単位	教科書	新編 数学C（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学C（東京書籍）						

学習目標	複素数平面、2次曲線について理解します。また、それらの内容の基礎概念を理解し、その基本的な知識や技能を習得します。 知識や技能を的確に利用して問題解決を図る能力を養い、数学的な見方やものの考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	予習をしっかりとした上で授業に臨みましょう。授業で自分が疑問に思ったことや分からなかったことを解決し、復習を通して学んだ知識の定着を行いましょう。 副教材やプリント等で、問題演習を行い、問題を解く力や応用力を養い、定期考査でその成果を試しましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言 ※1学期の評価をもって、数学Cの評価とします。

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第3章 複素数平面 第4章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	複素数平面の概念について理解し、極形式や回転移動などを活用した図形的な考察を学びます。 放物線、双曲線、楕円について基本的な性質を理解し、2次曲線と直線との位置関係や平行移動を学びます。また、極座標、極方程式の概念を理解します。
2学期		
3学期		

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究Ⅰ	学年	第6学年	類型	ヒューマンティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	数学探究Ⅰ（今治東中等教育学校）				
副教材	新課程 書き込み式シリーズ〔標準〕教科書傍用 Study-Upノート 数学Ⅰ+A（数研出版）						

学習目標	数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数・確率、図形の性質の考え方について、それぞれの進路に応じた試験に対応できる知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。
学習の方法	問題集と演習プリントを活用して、基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで、技能に習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに、再度復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第1章 数と式	公式を利用した式の展開、たすき掛けの因数分解、無理数の計算、1次不等式、2次方程式の解法について理解し、反復練習します。
	第2章 集合と命題	集合や命題について理解し、より発展的な問題を解く力を養います。
	第3章 2次関数	2次関数の基本事項を確認するとともに、方程式・不等式の関係を理解し、反復練習します。
2 学期	第4章 図形と計量	三角比の定義、正弦定理・余弦定理を理解し、より発展的な問題を解く力を養います。
	第5章 データの分析	データを分析するときの基本的な指標について理解します。
	第6章 場合の数と確率	順列や組合せ、確率の性質などについて理解し、反復練習します。
	第7章 図形の性質	図形における基本的な性質を理解し、その活用を考えます。
3 学期	問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究Ⅱ	学年	第6学年	類型	ヒューマンティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	数学探究Ⅱ(今治東中等教育学校)				
副教材	新課程	練習ドリル	数学Ⅰ 基本から標準編(数研出版)				

学習目標	主に数学Ⅰに関する復習を通して、基礎事項の定着を深め、発展的な問題にも取り組みます。 また、その知識や技能を深め、活用することで数学的な考え方やものの見方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	予習をしっかりとした上で授業に臨みましょう。授業で自分が疑問に思ったことや分からなかったことを解決し、復習を通して学んだ知識の定着を行いましょう。 副教材やプリント等で、問題演習を行い、問題を解く力や応用力を養い、定期考査でその成果を試みましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 数と式 式の計算、式の展開、因数分解、平方根、1次不等式、絶対値 第2章 集合と命題 集合、命題と条件、命題とその逆・裏・対偶	各計算方法や性質、公式の理解を深め、様々な整式の計算の習熟度を高めます。 集合の概念を学び、必要十分条件、逆・裏・対偶等の命題の証明に習熟します。
2学期	第3章 2次関数 2次関数のグラフ、最大・最小、2次方程式・不等式、応用 第4章 図形と計量 三角比の値、三角方程式、正弦・余弦定理、図形への応用 第5章 データの分析 代表値、散らばりと四分位数、分散と標準偏差	2次関数の基本事項を定着させ、そこから発展的な問題を解く力を養います。グラフのイメージを基に場合分けの問題も学習します。 三角比の基本事項を定着させ、より発展的な問題を解く力を養います。 データの代表値について理解を深めるとともに、様々な値からデータを読み取る力を養います。
3学期	問題演習	全体的な習熟度の向上を目指します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究Ⅲ	学年	第6学年	類型	ヒューマンティーズ 5教科
単位数	3単位	教科書	数学探究Ⅲ(今治東中等教育学校)				
副教材							

学習目標	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、指数関数と対数関数、微分法と積分法、数列、ベクトルの考え方について、それぞれの進路に応じた試験に対応できる知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。
学習の方法	演習プリントを活用して、基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで、技能に習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに、再度復習に取り組み、確実に定着できるようにします。 週5時間で2学期と3学期だけで履修を終了します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言 ※2学期と3学期の評価をもって、数学探究Ⅲの評価とします。

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期		
2 学期	第1章 数と式 第2章 関数と方程式・不等式 第3章 式と証明・論理 第4章 整数の性質 第5章 場合の数・確率 第6章 図形の性質 第7章 図形と式 第8章 三角・指数・対数関数 第9章 微分法・積分法 第10章 ベクトル	まずは、教科書の例題レベルの問題で、公式・定理の基本的な使い方を確認します。そして、教科書+αの問題で重要テーマの考え方・解法をマスターし、模試の問題や入試問題にチャレンジして実力を付けていきます。 大学入学共通テストに向けて、過去の問題を利用しながら、マーク問題の学習をしていきます。
3 学期	第11章 数列 第12章 データの分析 問題演習	大学入学共通テストや進学試験に向けて、過去の問題を利用しながら学習をしていきます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究Ⅳ	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	数学探究Ⅳ(今治東中等教育学校)				
副教材	NEW ACTION LEGEND 数学Ⅰ+A (東京書籍) NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ+B、NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅲ (東京書籍)						

学習目標	今まで習ってきた高校数学の問題演習を通して、数学的な知識や技能の習熟度を高め、数学的な見方やものの考え方の良さを認識できるようにします。 様々な問題を解くことで、考える力を養い、世の中の様々な事象を数学的に解決できる力を高めます。
学習の方法	予習をしっかりとした上で授業に臨みましょう。授業で自分が疑問に思ったことや分からなかったことを解決し、復習を通して学んだ知識の定着を図りましょう。 演習プリント等で、問題演習を行い、問題を解く力や応用力を養い、定期考査でその成果を試みましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期		
2 学期	第1章 数と式・論理 第2章 関数と方程式 第3章 データの分析 第4章 場合の数と確率 第5章 平面図形 第6章 図形と方程式 第7章 三角比・三角関数 第8章 指数・対数関数 第9章 微分法・積分法 第10章 数列 第11章 統計的な推測 第12章 ベクトル	各種計算問題、方程式・不等式に関する問題、各種の証明問題、データの分析の問題、順列や組合せの問題、確率、図形の性質に関する問題、図形と方程式に関する問題、軌跡・領域に関する問題、三角比や三角関数に関する問題、指数関数や対数関数に関する問題、導関数、関数の増減・極値に関する問題、最大・最小の問題、積分を利用した面積に関する問題、各種の数列の問題、数学的帰納法に関する問題、統計的な推測に関する問題、ベクトルの平面図形や空間図形に関する問題、空間座標や球面に関する問題、さらにそれらの応用問題を解きます。
3 学期	問題演習	問題演習を通してさらに問題を解く力を鍛えます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	化学基礎	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	高等学校 新編 化学基礎(数研出版)				
副教材	リードLight化学（数研出版）						

学習目標	化学と人間生活との関わりについて学習し、総合的な見方や考え方を養成します。 主体的に観察、実験などに取り組むことによって科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を育てます。 物質に関する原理・法則の基礎を理解し、物質とその変化をマクロ的に捉える見方や考え方を養います。
学習方法	毎時間にテーマを定め、それに基づき授業展開を行います。授業で学習する内容は、暗記するのではなく、規則性を見付けたり、身近な事柄に結び付けたりすることで理解が進みます。板書を写すだけでなく、自分で調べたことなどを付け加え、自分が使いやすいノートを作りましょう。さらに問題集を積極的に解いて、学習内容の定着を図ることが大切です。観察・実験は内容をよく把握し、安全に注意して行いましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
序章 化学の特徴	私たちが生活しているこの世界は、様々な物質から成り立っています。ここでは、学問としての化学が、人類の発展にどのように寄与してきたかについて学習します。
1 第Ⅰ編 物質の構成と化学結合 学期 第1章 物質の構成 第2章 物質の構成粒子 第3章 粒子の結合	物質がその構成上からどのように分類されているかを学びます。また、成分の観点から元素について、粒子の熱運動の観点から物質の状態について理解します。その他にも元素の性質が電子配置によって決まり、電子配置の周期性が元素の性質に反映していることを理解します。原子は、電子配置によって結び付き方に規則性があることを理解します。それぞれの化学結合の性質について学習します。
2 第Ⅱ編 物質の変化 学期 第1節 物質と化学反応式 第2節 酸・塩基とその反応	物質の量を考え、化学変化を量的に考察する考え方を学びます。その中で使われてきた器具についても学習し、科学の発展に寄与した諸法則についても学習します。酸と塩基の基本的知識を復習し、酸・塩基の定義を理解します。さらに、水素イオンの授受による水素イオン濃度 pH の概念、中和反応について学びます。 「実験」「探究活動」を通じて、生徒が主体的に課題に取り組み、問題解決の方法を身に付けられるようにします。
3 第3節 酸化還元反応 学期	酸素や水素、電子の授受による酸化還元反応の例を学び、電子移動反応として統一的に理解します。 金属元素のイオンと単体の反応を酸化還元反応の観点から考え、イオン化傾向の意味を学習します。代表的な電池の仕組みや電極反応を学習します。酸化還元反応を利用した金属の製造法について学習します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	物理基礎	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	物理基礎（啓林館）				
副教材	物理基礎問題集（高教研理科部会）、物理基礎・物理実験ノート2025（高教研理科部会）						

学習目標	物理学と人間生活との関わりについて学習し、物理的な見方や考え方を養成します。 主体的に観察、実験などに取り組み、科学の方法を学び、物理的に探究する能力と態度を育てます。物体の運動、様々な形のエネルギーを中心に学び、物理学における基本的な原理・法則を理解し、活用する力を養います。
------	--

学習の方法	方程式や関数といった基本的な数学を用いて、物体の様々な運動について考えます。授業で学習する内容は、暗記するのではなく、規則性を見付けたり、公式の導出過程を理解したりすることです。板書を写すだけでなく、自分で調べたことや数式の展開過程などを後から見返せるよう、工夫したノート整理を心掛けましょう。さらに学習内容を定着させるためには、十分な問題演習が必要です。問題集の問題は何回も繰り返し解き直すことで効果が表れることに注意しましょう。
-------	--

評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表
-------	---

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第2章 力と運動 第3章 仕事とエネルギー 第2部 熱 第1章 熱とエネルギー	主に直線上を動く物体の運動を正確に表す方法について学習します。鉛直に落下する物体や、斜め上方に投げ出された物体などの運動を記録、分析してそれらの表し方を学びます。 また、身の回りの物体には重力や摩擦力などの力がはたらいています。ここでは、いろいろな力の性質を学び、力がはたらいた場合の運動の様子を調べ、運動の法則について理解します。 仕事について理解を深め、摩擦がはたらかない場合の運動では力学的エネルギーが一定に保たれることについて学習します。熱や波、電気などの物理現象とエネルギーの関係を学ぶとともに、いろいろな種類のエネルギーとその利用について学びます。
2 学期 第3部 波 第1章 波の性質 第2章 音 第4部 電気と磁気 第1章 静電気と電流 第2章 交流と電磁波 以下は「物理」	水面の波や音の波、電波、光の波など、私たちの身の回りにはいろいろな波があふれています。ここでは、波とは何か、波はどのように伝わるのかなどを調べ、波の性質を学習します。 静電気や電流など、電気に関わる法則を学習し、さらに発電機や電磁波などについて理解を深めます。
3 学期	

備考	2学期中間考査までの集中履修を設定しています。2学期中間考査以降は物理を集中履修します。
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	物理	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	物理（啓林館）				
副教材	物理基礎問題集（高教研理科部会）、物理基礎・物理実験ノート2025（高教研理科部会）、セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）						

学習目標	「物理基礎」の学習を踏まえて、物理的な事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行います。また、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成します。
学習の方法	授業を中心に、教科書に書かれている基本的事項を系統立てて整理していきます。さらに、問題集で学習内容を確認するとともに、実験を通して学習内容の理解を深め、探究する態度も養います。 力学、熱力学、波動、電磁気学、原子物理学といった各分野において、必要な計算力を身に付けるためにプリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。さらに、年5回の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期		
2 学期	第1部 様々な運動 第1章 物体の運動 第2章 剛体のつり合い 第3章 運動量と力積 第4章 円運動と単振動 第5章 万有引力	私たちが実際に目にする運動は、曲線を描くものが少なくありません。ここでは、平面内での物体の運動を中心に、大きさのある剛体の重心やつり合いの関係について学習します。 衝突や分裂といった短い時間で複雑に力がはたらく運動について成り立つ法則について学習します。一定の時間間隔で同じ動きを繰り返す運動が自然界には多く見られます。また、私たちの身の回りにはこのような運動の特徴を利用しているものが多くあります。ここでは周期的な運動の元となる力の性質や、運動の様子について学習します。 ニュートンの発見した万有引力の法則を学び、天体だけではなく、人工衛星や探査機などの運動についても考えます。
3 学期	第2部 熱 第1章 気体分子の運動 第3部 波 第1章 波の性質 第2章 音	気体の温度・圧力・体積のようなマクロな量と、気体分子の速さのようなミクロな量の関係を考え、さらに熱機関の原理について考察します。気体の状態は、圧力・体積・温度で表されます。気体の状態の変化の代表的な4つの場合について、エネルギーの移動の状態を調べます。 物理基礎の内容をさらに掘り下げ、平面や空間を伝わる波についての性質を学びます。

備考	2学期中間考査以降の集中履修を設定しています。2学期中間考査以前は物理基礎を集中履修します。
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	化学	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	3単位	教科書	化学（数研出版）				
副教材	リードLightノート化学（数研出版）						

学習目標	化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成します。
学習の仕方	授業を中心に教科書、プリントなどを活用し、化学の基本的な概念・法則を理解するとともに、観察、実験などを通して学習内容の理解を深め、探究する力も養っていきます。 また、結晶構造、気体の法則、溶解度、熱化学方程式、電気分解、化学平衡などの計算が理解できるよう、プリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。 さらに、年5回の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 第1編 物質の状態 第1章 固体の構造 第2章 物質の状態変化 第3章 気体	イオン結合、共有結合、金属結合からできている物質について学習します。また、塩化ナトリウム型結晶格子、体心立方格子、面心立方格子、六方最密構造の結晶格子を学習します。 物質の融点、沸点を分子間力や化学結合と関連付けて学習します。また、エネルギーについては、融解熱、蒸発熱を学習し平衡については、気液平衡と蒸気圧を学習します。 ボイル・シャルルの法則、気体の状態方程式、分圧の法則や理想気体と実在気体の違いを学習します。
2 学期 第4章 溶液 第2編 物質の変化 第1章 化学反応とエネルギー 第2章 電池と電気分解	溶解の仕組み、固体の溶解度や気体の溶解度を学習します。また、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧、コロイドを学習します。 エンタルピー変化と化学反応式、反応エンタルピーの種類、ヘスの法則、反応エンタルピーと結合エネルギーとの関係を学習します。また、化学反応と光も学習します。 ダニエル電池、鉛蓄電池、燃料電池などを学習します。また、電気分解における各電極の反応が酸化、還元反応であることや、ファラデーの法則について学習します。
3 学期 第3章 化学反応の速さとしくみ 第4章 化学平衡 第3編 無機物質 第1章 非金属元素	反応速度の定義や反応速度が条件によって変化することを学習します。また、触媒や活性化エネルギーについて学習します。 平衡定数やルシャトリエの原理について学習します。また、弱酸、弱塩基の電離定数、塩の加水分解、緩衝液などについて学習します。 1、18、17、16、15、14族の非金属元素の単体及びその化合物の性質や反応について、周期表と関連付けて学習します。
備考	

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物基礎	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	高等学校 生物基礎（数研出版）				
副教材	生物基礎実験ノート・問題集（高教研理科部会） 二訂版ニューステージ生物図表（浜島書店）、新編アクセス総合生物（浜島書店）、リードLightノート生物基礎（数研出版）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）、と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。
学習の仕方	授業を中心に、特に教科書に書かれてある基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として問題集を効果的に活用していきます。 実験ノートにある実験を中心に、実際に手で触れ、目で見、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。
評価	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	生物の系統や分類について「生物の多様性」を学ぶとともに、細胞やエネルギー代謝など、どの生物にも共通する「生物の共通性」について、その基本的な考え方を学習します。 DNAの基本単位は、全ての生物に共通していますが、そこからできるタンパク質が異なり、多様な個体が生まれています。それらが、どのように子孫に伝えられ、個体の発生につながっているのかを結び付けながら学習します。
2学期 第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系 (2学期中間考査以降は生物) (3学期は生物のみ)	体液が営む恒常性について学習します。腎臓や肝臓がどのように働いているのか、また、血液の果たす役割、そしてホルモンによる調節機構や免疫に関する機構について学習します。 植物の様々な植生をもとに、気候との関係などに関連付けながら、それぞれの地域で異なる植生になる理由や、世界中にはどのようなバイオームが存在するかなどを学習します。 生物は互いに関わりを持ちながら生活しています。食物連鎖やエネルギーの流れ、物質の循環など、生物的環境と無機的環境の関連性と、それらのアンバランスより生じる守株の環境問題について、科学的に考察します。
備考	

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物基礎	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2単位	教科書	高等学校 生物基礎（数研出版）				
副教材	新編アクセス生物基礎（浜島書店）、リードライトノート生物基礎（数研出版）、ニュースページ生物図表（浜島書店）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活や遺伝情報の発現など、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。そして、生命の尊さを学びます。
学習の方法	授業を中心に、特に教科書に書かれている基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として問題集を効果的に活用していきます。 観察、実験を通して、実際に手で触れ目で見て、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実験プリント 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、実験等の行動観察 【主体的に取り組む態度】ノート、授業中の発言、挙手、発表内容

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	生物の系統や分類について「生物の多様性」を学ぶとともに、細胞やエネルギー代謝など、どの生物にも共通する「生物の共通性」について、その基本的な考え方を学習します。 DNAの基本単位は、全ての生物に共通していますが、そこからできるタンパク質が異なり、多様な個体が生まれています。それらが、どのように子孫に伝えられ、個体の発生につながっているのかを結び付けながら学習します。
2学期 第2編 ヒトの体内環境の維持 第3章 ヒトの体内環境の維持 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 生物の多様性と生態系（第1節、第2節）	体液が営む恒常性について学習します。腎臓や肝臓がどのように働いているのか、また、血液の果たす役割、そしてホルモンによる調節機構や免疫に関する機構について学習します。 植物の様々な植生をもとに、気候との関係などと関連付けながら、それぞれの地域で異なる植生になる理由や、世界中にはどのようなバイオームが存在するかなどを学習します。
3学期 第4章 生物の多様性と生態系（第3節、第4節）	生物は互いに関わりを持ちながら生活しています。食物連鎖やエネルギーの流れ、物質の循環など、生物的環境と無機的環境の関連性と、それらのアンバランスより生じる守株の環境問題について、科学的に考察します。
備考	

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物	学年	第5学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	生物（数研出版）				
副教材	生物実験ノート・問題集（高教研理科部会）、二訂版ニューステージ生物図表（浜島書店）、新編アクセス総合生物（浜島書店）、リードLightノート生物（数研出版）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。
学習の仕方	授業を中心に、特に教科書に書かれている基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として問題集を効果的に活用していきます。 実験ノートにある実験を中心に、実際に手で触れ、目を見て、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期		
2学期	ここまでは「生物基礎」（2学期中間考査以降） 第1編 生物の進化 第1章 生物の進化 第2編 生命現象と物質 第2章 細胞と分子 第3章 代謝	地球の歴史と遺伝的な観点から生物がいかに進化してきたかを理解することにより、現在の地球を理解することに結び付けながら学習します。 現在の地球上には、多種多様な生物が存在していることを再認識するとともに、生物個々が存在する意義について考えます。 細胞を構成する物質と、細胞の構造や機能との関係を学び、生物体内で起こっている生命活動について理解します。 代謝について、生物体内で起こっている化学反応について実験を通して理解します。
3学期	第3編 遺伝情報の発現と発生 第4章 遺伝情報の発現と発生	DNAの遺伝情報を元にタンパク質が合成される過程について系統立てて学びます。 バイオテクノロジーの現状と今後について学びます。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学基礎	学年	第5学年	類型	ヒューマンティーズ
単位数	2単位	教科書	地学基礎（啓林館）				
副教材	地学基礎の基本マスター新訂版（啓林館）、センサー地学基礎（啓林館）、地学学習帳（高教研理科部会）						

学習目標	地球や宇宙を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指します。
学習の方法	授業では、教科書に記載されている基本的な事項を学習していきます。学習内容は単に暗記していくだけではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、図表に掲載されているイラストや写真、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、副教材、課題、発表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第1部 固体地球とその変動 第2部 大気と海洋	第1部では、地球を全体で見たときの、形や大きさといった概観や内部構造について学習します。また、地球の大地の活動についても学習します。 第2部では、大気の構造と状態について学習します。
2学期	第3部 移り変わる地球	太陽放射によって大気や海水が受ける影響とその運動について学習します。また、これらの学習内容をもとに、日本の天気の変化について学びます。 第3部では、宇宙の誕生から、太陽系と地球の誕生までについて、地球と生命がどのようにして現在の姿となったかについて学習します。
3学期	第4部 自然との共生	また、地球と生命の歴史を探り、読み解く方法について学習します。 第4部では、これまでの学習をふり返し、自然環境と人類の共生について考えます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	物理	学年	第6 学年	類型	サイエンス
単位数	4 単位	教科書	物理 改訂版（啓林館）				
副教材	セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）、ビーライン物理（第一学習社）						

学習目標	「物理基礎」の学習を踏まえて、物理的な事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や、原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成します。
学習方法	授業を中心に、教科書に書かれている基本的事項を、系統立てて整理していきます。問題集で学習内容を確認するとともに、実験を通して学習内容の理解を深め、探究する態度の養いも養います。力学、熱力学、波動、電磁気学、原子物理学といった各分野において必要な計算力を身に付けるため、プリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。さらに、学年5回の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第2部 波 第3章 光 第4部 電気と磁気 第1章 電界と電位	古くから人類の多くの活動に利用されてきた光について学びます。ここでは、光の進み方や光の波としての性質について、詳しく学習します。スリットによる光の干渉など具体的な現象を通して光の性質について考察を深めます。 雷などの身の回りの現象だけではなく、原子・分子レベルにおいても、電気力は自然界の中で重要な役割を果たしています。ここでは静電気のはたらきについて定性的・定量的に考察し、静電気に関する理解を深めます。また、コンデンサーの基本的な性質について学習します。
2学期	第2章 電流 第3章 電流と磁界 第4章 電磁誘導と電磁波	現在の生活に欠かせない電流に関する技術の基礎について、電流のはたらきに注目して学習します。 磁気力と電流の関係について詳しく学習します。 変化する磁界や電流の作用により起こる電磁誘導について、定性的・定量的に考察し、私たちの生活の中で多く利用されている交流や電磁波について理解を深めます。
3学期	第5部 原子・分子の世界 第1章 電子と光 第2章 原子・原子核・素粒子	原子が近い距離ではお互いに引き合い、近づき過ぎると互いに反発するという一見矛盾するような現象について、光電効果や光量子仮説など近代の物理学の基礎的な分野を学習します。 X線をはじめα線・β線・γ線などの放射線の性質や線量の測定方法などを学びます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	化学	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	3単位	教科書	化学（数研出版）				
副教材	セミナー化学基礎＋化学（第一学習社）チェック＆演習化学（数研出版）						

学習目標	「化学基礎」の学習を踏まえて、化学的な事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則、化学の果たす役割を理解させ、科学的な自然観を育成します。
学習の方法	授業を中心に教科書、プリントなどを活用し、化学の基本的な概念・法則を理解するとともに、実験を通して学習内容の理解を深め、探究する態度も養います。 また、気体の法則、溶解度、熱化学方程式、電気分解、化学平衡などの計算が理解できるよう、プリントなどで演習を繰り返し行い、定着を図ります。 さらに、年5回の定期考査を通して、知識の整理・定着を図ります。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	第4編 有機化合物 第1章 有機化合物の分類と性格 第2章 脂肪族炭化水素 第3章 アルコールと関連化合物	炭素骨格、官能基による有機化合物の分類や有機化合物の元素分析について学習します。アルカン、アルキン、アルケンなどの化合物の構造、性質、反応などを学習します。また、構造に関連して、構造異性体や幾何異性体も学習します。アルコール、エーテル、カルボニル化合物、カルボン酸、エステルなどの化合物の構造、性質、反応などを学習します。また、構造に関連して、光学異性体の生態も学習します。さらに、日常生活や社会と関連付けて、油脂やセッケンも学習します。
2 学期	第4章 芳香族化合物 第5編 天然有機化合物 第1章 天然有機化合物 第2章 天然高分子化合物 第6編 合成高分子化合物 第1章 高分子化合物の性質 第2章 合成高分子化合物	芳香族炭化水素、フェノール類、芳香族カルボン酸、芳香族アミンの構造、性質、反応などを学習します。また、これらの化合物は、ベンゼン環及び官能基により性質が特徴付けられることを学習します。天然有機化合物である糖類やタンパク質等について学習します。また、それらの構造や性質などについて学習します。合成高分子化合物である合成繊維やゴムについて学習します。また、それらの構造や性質などについて学習します。さらに第5編、第6編では日常生活との結び付きについても学習します。
3 学期	総合的演習	2年間行ってきた化学の復習と応用を学習します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	4単位	教科書	生物（数研出版）				
副教材	生物実験ノート・問題集（高教研理科部会）、新課程 二訂版 スクエア最新図説生物（第一学習社）、セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）、リードLightノート生物（数研出版）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。
学習の方法	授業を中心に、特に教科書に書かれてある基本的事項を、系統立てて整理していきます。また、その確認として生物実験ノート・問題集を効果的に活用していきます。 生物実験ノート・問題集にある実験を中心に、実際に手で触れ、目を見て、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。また、問題集で内容をまとめます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、実験プリント 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、実験等の行動観察 【主体的に取り組む態度】ノート、授業中の発言、挙手、発表内容

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第4編 生物の環境応答 第5章 動物の反応と行動 第6章 植物の環境応答	動物の反応と行動として、感覚器官や神経系や筋肉の働く仕組みを学ぶとともに動物個体の行動について理解します。 植物の反応として、植物ホルモンの働きや光への応答に関わる光受容体について学びます。 生物がその命を次代に伝え、受精卵が生態になる仕組みについて学びます。 また遺伝学についても学習します。
2 学期	第5編 生態と環境 第7章 生物群集と生態系 総合演習1	現在の地球上には、多種多様な生物が存在していることを再認識するとともに、生物個々が存在する意義について考えます。 これまで学んできたことの総まとめを行います。
3 学期	総合演習2	これまで学んできたことの総まとめを行います。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	生物探究	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 5教科
単位数	2単位	教科書	高等学校 生物基礎（数研出版）				
副教材	セミナー生物基礎（第一学習社）、新課程 二訂版 スクエア最新図説生物（第一学習社）、生物実験ノート・問題集（愛媛県高等学校教育委員会理科部会）						

学習目標	生物の多様性（地球上には様々な生物種がいること）と共通性（どの生物も持っているDNAや細胞など）を根幹に据え、環境や自然、生物の生活やバイオテクノロジーなど、最先端の技術を交えながら科学的思考力を高めつつ、限りなく深い科学への扉を開きます。生命の尊さを学びます。
学習の方法	授業を中心に、特に教科書に書かれてある基本的事項について問題集を活用しながら、系統立てて整理していきます。また、その確認としても問題集を効果的に活用していきます。 実験ノートにある実験を中心に、実際に手で触れ、目で見え、科学的事象について思考力や表現力、データ処理能力などを高めていきます。そしてそれが、現在の科学とどのように結び付いているかを学習します。また問題集で内容をまとめます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とそのはたらき	生物の系統や分類について「生物の多様性」を確認するとともに、細胞やエネルギー代謝など、どの生物にも共通する「生物の共通性」について、その基本的な考え方を学習します。 DNAの基本単位は、全ての生物に共通していますが、そこからできるタンパク質が異なり、多様な個体が生まれています。それらが、どのように子孫に伝えられ、個体の発生につながっているのかを結び付けながら学習します。
2 学期	第2編 生物の体内環境の維持 第3章 生物の体内環境 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生の多様性と分布 総合演習1	体液が営む恒常性について深く学習します。腎臓や肝臓がどのように働いているのか、また、血液の果たす役割、そしてホルモンによる調節機構や免疫に関する機構について学習します。 植物の様々な植生をもとに、気候などと関連付けながら、それぞれの地域で異なる植生になる理由や、世界中にはどのようなバイオームが存在するかなどを学習します。 これまで学んできたことの総まとめを行います。
3 学期	総合演習2	これまで学んできたことの総まとめを行います。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学探究	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	2単位	教科書	高等学校 地学基礎（啓林館）				
副教材	センサー地学基礎（啓林館）、ビジュアルプラス地学基礎ノート（実教出版） 地学学習帳（愛媛県高等学校教育委員会理科部会）						

学習目標	地球や宇宙に関する基礎的な内容について再度学習し、広大で幅広い地球規模の空間・時間スケールで起こる事象についての理解を深めます。科学的思考力と知識を定着させるとともに、身の回りの諸現象に対する主体的な認識及び判断力を身に付けます。
学習の方法	地学基礎で学習した内容を更に深めていきます。学習内容は単に暗記していくだけではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、図説に掲載されているイラストや写真、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、副教材、課題、発表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	1 固体地球とその変動	地球の大きさと形について、重力・地磁気・内部構造といった内容まで掘り下げて学習します。 火成岩のできるメカニズムや、主要な火成岩について確認し、主な造岩性質や結晶構造について学習します。
	2 大気と海洋	大気層の構成及び熱収支について確認し、大気の流れについて学びます。更に、海水の構造を確認し、波・潮汐の構造を学び、理解を深めます。
2 学期	3 移り変わる地球	風化や浸食などによる地表変化について、理解を深めます。
	4 宇宙の構成	太陽系について確認し、惑星の運動まで内容を深めます。
	総合演習 1	これまでの学習内容の総まとめを行います。
3 学期	総合演習 2	これまでの学習内容の総まとめを行います。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	理科	科目	地学基礎	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	2単位	教科書	地学基礎（啓林館）				
副教材	地学基礎の基本マスター改訂版（啓林館）、地学学習帳（高教研理科部会）						

学習目標	地球や宇宙を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指します。
学習の方法	授業では、教科書に記載されている基本的な事項を学習していきます。学習内容は単に暗記していくだけではなく、それらを用いて様々な事象を捉えることが必要になります。また、地学は日常では扱わないスケールの事象が多くあるため、広い視野を持って学習していく必要があります。そのため、地学学習帳の実習内容を適時用いることで理解を深めていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 定期考査、ノート（実験プリントを含む）、小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査、ノート（実験プリントを含む）、発表 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、副教材、課題、発表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第1部 固体地球とその変動 第2部 大気と海洋	第1部では、地球を全体で見たときの、形や大きさといった概観や内部構造について学習します。また、地球の大地の活動についても学習します。 第2部では、大気の構造と状態について学習します。
2 学期	第3部 移り変わる地球	太陽放射によって大気や海水が受ける影響とその連動について学習します。また、これらの学習内容をもとに、日本の天気の変化について学びます。 第3部では、宇宙の誕生から、太陽系と地球の誕生までについて、地球と生命がどのようにして現在の姿となったかについて学習します。
3 学期	第4部 自然との共生	また、地球と生命の歴史を探り、読み解く方法について学習します。 第4部では、これまでの学習をふり振り返り、自然環境と人類の共生について考えます。

備考	特記事項なし。
----	---------

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第4学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができます。 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができます。 体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けることができます。
学習方法	授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開されていきます。 体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底と規律正しい行動や態度を育成します。 どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、運動技能の習熟や体力の向上を目指します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】実技テスト、記録 【思考・判断・表現】記録、観戦記録（自己評価等）、取組の観察 【主体的に学習に取り組む態度】出席、授業態度、取組の観察

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	体づくり運動 水泳 体育理論	集団走、隊形移動、体操 各種の体力を高める運動 新体力テスト 男子 平泳ぎ 女子 平泳ぎ スポーツの発祥と成立 スポーツ文化の発展と現代社会
2学期	体づくり運動 ダンス 球技 武道 体育理論	運動会練習 集団走、隊形移動、体操 各種の体力を高める運動 現代的なリズムのダンス 男子 ソフトボール 女子 バスケットボール 柔道 オリンピック・パラリンピックと国際社会 スポーツの経済効果とスポーツ産業
3学期	陸上競技 球技 体育理論	長距離走 記録会 男子 ハンドボール 女子 バドミントン スポーツに求められる高潔さ 持続可能性からみたスポーツと環境

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	保健	学年	第4学年	類型	共通
単位数	1 単位	教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	わが国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりなどが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにします。
学習の方法	教科書、学習ノートを中心に各単元を学習していきます。 グループでの課題学習やプレゼンテーションを行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート 【思考・判断・表現】定期テスト、プレゼンテーション、ノート、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、授業中の発言・態度

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	2 安全な社会生活 (1) 事故の現状と発生要因 (2) 交通事故防止の取り組み (3) 安全な社会の形成 (4) 応急手当の意義と救急医療体制 (5) 心肺蘇生法 (6) 日常的な応急手当 1 現代社会と健康 (1) 日本における健康課題の変遷
2 学期	(2) 健康の考え方と成り立ち (3) ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり (4) 健康に関する意思決定・行動選択 (5) 現代における感染症の問題 (6) 感染症の予防 (7) 性感染症・エイズの予防 (8) 生活習慣病の予防と回復 (9) 身体活動・運動と健康 (10) 食事と健康
3 学期	(11) 休養・睡眠と健康 (12) がんの予防と回復 (13) 喫煙と健康 (14) 飲酒と健康 (15) 薬物乱用と健康 (16) 精神疾患の特徴 (17) 精神疾患への対応

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第5学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができます。 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができます。 体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けることができます。
学習方法	授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開されていきます。 体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底と規律正しい行動や態度を育成します。 どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、運動技能の習熟や体力の向上を目指します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】実技テスト、記録 【思考・判断・表現】記録、観戦記録（自己評価等）、取組の観察 【主体的に学習に取り組む態度】出席、授業態度、取組の観察

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	体づくり運動 球技 水泳 体育理論	集団走、隊形移動、体操 各種の体力を高める運動 新体力テスト サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。 男子クイックターン、女子クロール スポーツにおける技術と戦術・戦略 スポーツにおける技能と体力
2学期	体づくり運動 球技 体育理論	運動会練習 サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。 技能上達課程と練習の考え方 効果的な動きのメカニズム
3学期	陸上競技 球技 体づくり運動 体育理論	長距離走 記録会 サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。 体ほぐしの運動 体力を高める運動 体力トレーニング 運動やスポーツでの危険予知と安全確保
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズⅠ型3教科
単位数	2単位	教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができます。 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができます。 体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けることができます。
学習の方法	授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開されていきます。 体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底と規律正しい行動や態度を育成します。 どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、運動技能の習熟や体力の向上を目指します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】実技テスト、記録 【思考・判断・表現】記録、観戦記録（自己評価等）、取組の観察 【主体的に学習に取り組む態度】出席、授業態度、取組の観察

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	球技 体育理論	バスケットボール ソフトテニス サッカー 卓球 バドミントン テーマ別課題学習、発表
2 学期	球技 体づくり運動 球技 体育理論	ハンドボール バレーボール 野球 体力を高める運動 ソフトボール ラグビー テーマ別課題学習、発表
3 学期	体づくり運動 球技 ダンス 体育理論	体ほぐしの運動 キックベースボール ダンス テーマ別課題学習、発表

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	保健	学年	第5学年	類型	共通
単位数	1単位	教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及びわが国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにします。 社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深く関わっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関わる活動や対策が重要であることについて理解できるようにします。
学習の方法	教科書、学習ノートを中心に各単元を学習していきます。 グループでの課題学習やプレゼンテーションを行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート 【思考・判断・表現】定期テスト、プレゼンテーション、ノート、発表 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、授業中の発言・態度

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	3 生涯を通じる健康 (1) 思春期と健康 (2) 性意識の変化と性行動の選択 (3) 結婚生活と健康 (4) 妊娠・出産と健康 (5) 家族計画 (6) 加齢と健康 (7) 高齢社会に対応した取組	思春期には、生殖器が発達し、不安や悩みが多い。 性意識には男女で差がある。不正確な情報にまどわされない。 心身の発達が結婚生活の基礎となる。 母体の健康を維持し、母子保健サービスを活用しよう。 安全で確実な避妊法を選ぶ必要がある。 中高年期を健やかに過ごすために大切なこと。 介護保険制度や保健・医療・福祉の連携について。
	4 健康を支える環境づくり (1) 大気汚染と健康 (2) 水質汚濁・土壌汚染と健康 (3) 健康被害を防ぐための環境対策 (4) 環境衛生に関わる活動 (5) 食品の安全性と健康	働き方とともに、健康問題も変わってきた。 日本における労働災害の推移について 働く人の健康を保持増進する為に大切なこと。 大気汚染は、健康に様々な影響を及ぼしている。 水質汚濁や土壌汚染は健康に様々な影響を及ぼしている 環境汚染の状況は変化し、それを防ぐ様々な取組がある。 ごみを適切に処理するために大切なこと。 食品の安全は、私たちの健康を左右する。
3 学期	(6) 食品の安全性を確保する取組 (7) 保健制度とその活用 (8) 医療制度とその活用 (9) 医薬品の制度とその活用 (10) 様々な保健活動や対策 (11) 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境作り	食品の安全性を確保する行政、生産・製造者の役割 保健行政は健康づくりを支援する。 誰もがが必要な医療を受けられる。 正しい使い方が医薬品の効果を高める。 多くの活動が、私たちの健康を支えている。 ヘルスプロモーションにもとづく活動。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第6学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	最新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	最新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができます。 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができます。 体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けることができます。
学習の方法	授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開されていきます。 体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底と規律正しい行動や態度を育成します。 どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、運動技能の習熟や体力の向上を目指します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】実技テスト、記録 【思考・判断・表現】記録、観戦記録（自己評価等）、取組の観察 【主体的に学習に取り組む態度】出席、授業態度、取組の観察

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	体づくり運動 球技 水泳 体育理論	集団走、隊形移動、体操 各種の体力を高める運動 新体力テスト サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。 男子バタフライ、女子背泳ぎ 生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルとスポーツの楽しみ方
2学期	体づくり運動 球技 体育理論	運動会練習 サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。 スポーツ推進のための施策と課題 スポーツで「未来」を創る
3学期	球技 体育理論	サッカー、ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バスケットボール、バレーボールから選択します。 まとめ
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	最新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	最新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができます。 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができます。 体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けることができます。
学習の方法	授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開されていきます。 体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底と規律正しい行動や態度を育成します。 どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、運動技能の習熟や体力の向上を目指します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】実技テスト、記録 【思考・判断・表現】記録、観戦記録（自己評価等）、取組の観察 【主体的に学習に取り組む態度】出席、授業態度、取組の観察

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	球技 体づくり運動	サッカー ハンドボール 体ほぐしの運動 陸上競技 ソフトボール
2 学期	球技 体づくり運動	卓球 武道 陸上競技 ソフトテニス 長距離走 体ほぐしの運動
3 学期	球技 体づくり運動	体力を高める運動 サッカー ソフトボール ソフトテニス

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	保健体育	科目	体育	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	最新高等保健体育（大修館書店）				
副教材	最新高等保健体育ノート（702）（大修館書店）						

学習目標	各種の運動を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができます。 自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指し、活動の仕方を考え、工夫することができます。 体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を身に付けることができます。
学習の方法	授業開始の5分前には集合し、出席点呼、体づくり運動、種目へと展開されていきます。 体づくり運動、ダンスなどの単元では、グループでの活動を通して、集団行動の徹底と規律正しい行動や態度を育成します。 どの単元においても、それぞれの運動の特性に応じた、運動技能の習熟や体力の向上を目指します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】実技テスト、記録 【思考・判断・表現】記録、観戦記録（自己評価等）、取組の観察 【主体的に学習に取り組む態度】出席、授業態度、取組の観察

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 球技 体づくり運動 体育理論	ドッジボール キンボール インディアカ ハンドボール 体ほぐしの運動 バレーボール フォークダンス 長縄跳び ラグビー キックベースボール テーマ別課題学習、発表
2 学期 球技 体づくり運動 体育理論	アルティメット ハンドボール 体ほぐしの運動 ソフトボール フットサル ドッジボール フラーバールバレー 卓球 バドミントン ダンス ターゲットバードゴルフ エアロビクス 野球 テーマ別課題学習、発表
3 学期 体づくり運動 体育理論	体力を高める運動 テーマ別課題学習、発表
備考	

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	高校生の音楽1（教育芸術社）				
副教材							

学習目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高めます。 創造的な活動である創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。
学習の方法	歌唱や器楽の活動では、音楽を形作っている要素を知覚しながら、働きを感受し、それぞれの曲にふさわしい表現を工夫していきます。 創作の活動では、音素材の特徴を生かし、イメージを持って音楽を創ります。 鑑賞では、声や楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取り、楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】楽譜を理解し活用できる力、実技試験 【思考・判断・表現】演奏の技術や表現の工夫、音楽史や比較を加えた鑑賞能力 【主体的に学習に取り組む態度】学習状況（発言・挙手）

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	1 楽譜とリズム	リズム活動を中心に、楽譜とリズムの関係を学習します。
	2 様々な舞台芸術	演劇、オペラ、ミュージカル、バレエを通じて、総合芸術としての楽しみ方を学習します。 日本の舞台芸術として、能、歌舞伎を西洋の舞台芸術と比較しながら鑑賞します。
2 学期	3 声の世界（世界の歌）	曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌います。
	4 楽譜と音高	キーボードを使って、楽譜と音高の関係を学習します。
	5 作曲家の人生と作品	モーツァルトの生涯と作品について、時代背景や音楽の様式など理解しながら、より深く鑑賞します。
3 学期	6 音楽の仕組み ・和音とコードネーム ・簡単なメロディ創り	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して音楽を創ります。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	1単位	教科書	高校生の音楽2（教育芸術社）				
副教材							

学習目標	音楽の諸活動を通して、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高めます。 個性豊かな表現能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。
学習の方法	表現活動では、音楽を形作っている要素を知覚しながら、それらの働きを感受し、それぞれの曲にふさわしい表現を工夫していきます。 西洋音楽史の観点から、楽曲の文化的・歴史的背景を学び、より深い鑑賞能力を養います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】筆記試験・実技試験 【思考・判断・表現】音楽史の観点による比較を加えた鑑賞能力 【主体的に学習に取り組む態度】学習状況・レポート発表

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	1 舞台芸術の世界	ミュージカル・バレエ・オペラについて、その特徴や表現方法の違いについて理解を深めます。
	2 西洋音楽史①	中世・ルネサンス・バロック時代の音楽について学び、西洋音楽が育まれてきた歴史・文化的背景について理解を深めます。
2 学期	3 器楽アンサンブル	器楽アンサンブルに取り組み、仲間と協力しながら音楽を創り上げる楽しさを味わいます。
	4 西洋音楽史②	古典派・ロマン派の音楽について、音楽が時代に合わせてどのように変わりどう発展したか、理解を深めます。
3 学期	5 西洋音楽史③	近代・現代の音楽について、その特徴を理解し、様々な場面での音楽の活用方法を考えます。
	6 個人研究・発表	音楽の魅力を各自が言葉で表現し、発表できる力を付けます。
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	高校生の音楽2（教育芸術社）				
副教材							

学習目標	音楽の諸活動を通して、生涯に渡り音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高めます。 個性豊かな表現能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めます。
学習の方法	歌唱や器楽の活動を通して、音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受して、曲にふさわしい表現を工夫していきます。 ピアノ、フルートの基本奏法を中心に、読譜力、ソルフェージュ能力を高め、創作活動に発展させます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】筆記試験・実技試験 【思考・判断・表現】音楽史の観点による比較を加えた鑑賞能力・作品発表 【主体的に学習に取り組む態度】学習状況

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	1 個別実技研究 ピアノ・フルート	個別に歌唱、ピアノ・フルートの楽器を選択し、それぞれに適した奏法や楽譜の基本について学び、読譜力を身に付けます。また、音楽の諸要素についても理解を深め、主体性・積極性を養います。 学期末には学期で取り組んだことを復習し、まとめます。
2学期	2 実技研究 創作	音楽の仕組みを理解し、楽曲の創作を目指します。 学期末に創作活動の成果を発表します。
3学期	3 音楽表現研究	1・2学期で学んだことをもとに、独奏の特色を生かし、豊かな響きのある音楽を創り上げる喜びを味わいます。 聴衆に伝えるためにふさわしい演奏表現について詳しく学びます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術 I	学年	第 4 学年	類型	共通
単位数	2 単位	教科書	美術 I （光村図書出版）				
副教材							

学習目標	中学校美術の内容を発展させ、多様な表現方法や技術を身に付けます。色の世界から始まり、基礎的な技術、自分の考えをかたちに表す力を養います。 また、著名な作品や他者の作品を鑑賞することで表現力・知識を豊かにします。
学習の方法	制作することで技術を学び、必要に応じて道具・材料の知識を制作過程から学びます。自分が体験することで疑問に思うこと、詳しく知りたいことを見付け、主体的に学びます。 授業内で配布するプリントや板書を中心に行う小テストで、学んだことを整理し活用します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 作品、提出物 【思考・判断・表現】 作品、提出物、活動の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 作品、提出物、平常の活動姿勢

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	鉛筆デッサン シルクスクリーン版画	鉛筆による細密描写を行います。対象を観察し、よく考えて、同じモチーフを繰り返し描くことで理解を深めます。 また、技法や画材の知識を得ることで学びの幅を広げます。 製品には、作られた目的があり、その目的を達成するための機能や工夫があることを理解します。構想を練ったり、制作したりすることを通してデザインの意味や価値を理解します。
2 学期	オリジナルの生き物を考えよう 見て、感じて、考えて	テーマをもとに主題を生み出し、説得力のある設定を発想します。 作品をじっくりと鑑賞し、自分なりの見方を持つとともに、仲間とともに考えを深め、新たな解釈を生み出します。多様な見方や考え方があつことを理解します。
3 学期	自画像	自分自身と向き合い、これからいかに生きていくか作品制作を通して考えていきます。単に自身の顔を描くだけでなく、そこに思いや感情を表すためにどうすればよいか考え、材料や表現方法を創意工夫します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ
単位数	1 単位	教科書	高校生の美術 2 （日本文教出版）				
副教材							

学習目標	美術Ⅰで学んだ高校美術の基礎を主軸にして、応用・発展させる技術や知識を得ることです。 また、美術Ⅰでの物の見方・感じ方を更に深いものにし、作品の制作背景や作者の意図などを探る力を養うことで、新しい見方・考え方を身に付けます。
学習の方法	一つの作品にかかる時間を長くすることで、作品の完成度を高める方法を学びます。学んだ知識を活用し、積極的に制作し、より良い作品を仕上げます。 限られた時間の中で、自分の目標を持って活動します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、提出物 【思考・判断・表現】作品、提出物、活動の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、提出物、平常の活動姿勢

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 表現の手法 メッセージを伝えるには	人物スケッチを行い、人体への理解や鉛筆での表現の基礎を学びます。基礎の後には、短時間で観察し大まかな形や流れを読み取る力を身に付ける学習をします。 作品を見た人に自分の表現したいこと伝えるにはどうすればよいか、どのような見せ方をすればよいか、デザインを通して考えます。
2 学期 仮面づくり	古今東西の仮面について理解を深め、素材や用具の特性を理解して、自分だけの仮面づくりを行います。造形的に美しいだけでなく、コンセプトも併せて考えることが重要です。
3 学期 魅力的な写真	アングルや画像編集などの写真撮影の知識・技能を身に付け、テーマに合わせて創意工夫して様々な写真を撮影します。自らテーマを設定すること、より良い作品を作ろうと追究する姿勢が重要です。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	高校生の美術3（日本文教出版）				
副教材							

学習目標	美術Ⅰを基礎、美術Ⅱを応用として、その二つを踏まえた上で専門分野の知識を深めていきます。
学習の方法	週2時間の活動の中で、時間配分や制作計画などを自分で決めて活動します。 興味の湧いた分野の制作を各々が選択し、制作の計画を立て、計画通りに制作した作品を卒業研究として、東校展へ展示します。じっくり時間をかけて大作を完成させていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、提出物 【思考・判断・表現】作品、提出物、活動の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、提出物、平常の活動姿勢

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	立体表現（3D） 画材研究	一人一台端末を利用し3Dスキャン、3Dモデリングを駆使し、3Dデータでの立体を作成し、3Dプリンタで作品を作ります。 卒業研究に向け、自分の興味のある分野について、調べ学習を通じて深めていきます。様々な技法・画材を試し、自分の主題に適したものを模索していきます。
2 学期	卒業研究	卒業研究として、自分の興味のある分野を選択し、大作に挑戦します。 サイズの大きい作品を作るときに、どのような点に気を付ければ良いか学び、展示や作品のプレゼンテーションをする方法を学習します。
3 学期	卒業研究	卒業研究として、自分の興味のある分野を選択し、大作に挑戦します。 サイズの大きい作品を作るときに、どのような点に気を付ければ良いか学び、展示や作品のプレゼンテーションをする方法を学習します。 家庭学習期間を有効に使い大作を完成させます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	高校生の美術2（日本文教出版）				
副教材							

学習 目標	美術Ⅰで学んだ高校美術の基礎を主軸にして、応用・発展させる技術や知識を身に付けます。 また、美術Ⅰでの物の見方・感じ方を更に深いものにし、作品の制作背景や作者の意図などを探る力を養うことで、新しい見方・考え方を身に付けます。
学習 の 方法	一つの作品にかかる時間を長くすることで、作品の完成度を高める方法を学びます。学んだ知識を活用し、積極的に制作し、より良い作品を仕上げます。 限られた時間の中で、自分の目標を持って活動します。
評価 の 仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、提出物 【思考・判断・表現】作品、提出物、活動の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、提出物、平常の活動姿勢

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 木炭デッサン ポスターを考える	東京藝術大学の過去問に挑戦します。問いと深く向き合い、自分なりの答えを絞り出します。また、木炭デッサンの用具を適切に使いこなし、豊かな絵画表現を目指します。 伝えたい内容、伝える相手、与えられた条件などを基に、図柄やコピー（文字）などを考え、印象に残るポスター制作を目指し、アイデアを練っていきます。夏期休業中課題としてポスター制作をします。
2 学期 ゲームデザインを考える	ボードゲームについて考えることを通して、人が楽しくなる工夫について理解を深めます。テーマに合うゲームを提案します。
3 学期 オマージュで絵画	芸術は過去の作品に影響を受け、生まれます。参考にする作品をよく味わい、解釈し自分の表現に生かすことで、深く理解することを目指します。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	書道Ⅰ（教育出版）				
副教材							

学習目標	表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てます。 漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書に親しむ活動を通して感性を高め、書の伝統と文化についての理解を深めます。 様々な場面に対応できる書写能力を育てながら、主体的に自己を表現する能力を高めます。
学習の方法	教科書、プリントを使って授業を進めていきます。書道の授業は表現と鑑賞で成り立っています。表現の分野では「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の3つの分野の各名跡を基に用筆、運筆、字形などの基本的な技法を習得します。臨書活動を中心に進めていきますが、書道史や書論等も単元毎に学習します。「鑑賞」の分野では各時代の名跡から書体の変遷、時代の流れを学習していきます。 また、自分たちの作品を相互評価することで、鑑賞力を身に付けていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、学習記録 【思考・判断・表現】作品、学習記録、活動中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、学習記録、授業中の発言、挙手

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期 書道の学習を始めよう 漢字の書の学習 楷書の学習	中学校までの書写の学習を振り返り、書写と書道の共通性と相違を理解し、書の世界を知ります。 全体構成の工夫について学びます。 楷書古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法、運筆法を学びます。各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞します。
2 学期 行書の学習 仮名の書の学習	行書古典の臨書学習により、基本的な点画や線質の表し方、用筆法、運筆法を学びます。各古典の表現の違いを理解し、その特徴を時代と人物を通して鑑賞します。 仮名の成立と変遷、種類について学んだ上で、基本用筆を習得します。また、平安期の仮名独特の流動美や紙面構成を学び、表現を深めていきます。
3 学期 仮名の書の学習 漢字仮名交じりの書の学習	用具・用材や形式、構成などの表現法を工夫し、作品を制作します。また、様々な仮名の古典を鑑賞し、話し合い、仮名の良さを味わい、鑑賞力を高めていきます。 自己の意図や狙いを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫することを学びます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマンティーズ
単位数	1 単位	教科書	書道Ⅱ（教育出版）				
副教材							

学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばします。 古典の持つ特徴や技術を理解し、創造的に表現する力を身に付けるとともに、鑑賞研究や指導を充実させることで書の伝統と文化への理解を深めます。
学習内容	教科書、プリントを使って授業を進めていきます。書道の授業は表現と鑑賞で成り立っています。表現の分野では「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」の3つの分野の各名跡を基に用筆、運筆、字形などの基本的な技法を習得します。臨書活動を中心に進めていきますが、書道史や書論等も単元毎に学習します。「鑑賞」の分野では各時代の名跡から方書体の変遷、時代の流れを学習していきます。また、自分たちの作品を相互評価することで、感じ取った印象を言葉で表現し他者に伝え合う言語活動の充実を図るとともに、その美をもたらす根拠や価値を考えていき、鑑賞力を身に付けていきます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】作品、学習記録 【思考・判断・表現】作品、学習記録、活動中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】作品、学習記録、授業中の発言、挙手

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 漢字の書の学習 篆書の学習 隷書の学習	篆書・隷書の成立と歴史的変遷について理解を深めます。代表的な古典を鑑賞し、時代背景などに関する知的理解を図るとともに臨書活動を通して各個展の特徴を把握し効果的な表現を身に付け、各古典の特徴と用筆・運筆の関わりについて学びます。
2 草書の学習 篆刻の学習 行書の学習 仮名の書の学習	1学期に引き続き、草書・行書の成立と歴史的変遷について理解を深めます。 篆書との関連を図るとともに、印の歴史と表現の多様性について学び、文字文化の視点から書の伝統と文化並びに生活や社会との関わりについて理解を深めます。
3 仮名の書の学習 漢字仮名交じりの書の学習 書の変遷	古筆を鑑賞し、書の美の諸要素や、表現方法・形式による効果を分析し、古筆に基づく表現や形式に応じた構成を工夫して表現することを学びます。 自己の意図や狙いを達成するために、漢字や仮名の古典を生かした表現を工夫することを学びます。 中国と日本の書の歴史とその周辺の文化について学びます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションI	学年	第4学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	Power On English Communication I (東京書籍)				
副教材	フェイバリット英単語・熟語 <テーマ別>コーパス 3000/4500 POWER ON English Communication I WORKBOOK						

学習目標	1. 必要な情報を聞き取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにします。 2. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができるようにします。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにします。
学習方法	国際社会の一員として、身近な話題や世界共通の課題等についての背景知識を深め、基礎的な英語を通して、自分の考えを伝えられるようにするため、各レッスンの言語材料（文の法、語彙、イディオム、発音等）を丁寧に学習し、繰り返し練習します。また、定着度を測るため、確認テスト等を定期的の実施します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト・小テスト・授業におけるコミュニケーション活動 【思考・判断・表現】定期テスト・授業におけるコミュニケーション活動 【主体的に学習に取り組む態度】英単語テスト・授業ファイルや長期休業中や週末の課題等の提出物・授業における発表回数

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	Pre-lesson Lesson 1 Japan's New Tourism Lesson 2 Light from Creatures Lesson 3 Routes to the Top Lesson 4 Left to Right, Right?	文の構造、自動詞と他動詞 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞＋動詞の原形 受け身、現在完了形、現在完了進行形 動名詞、不定詞、S＋V＋O [that 節] 後置修飾の現在分詞、後置修飾の過去分詞、比較級・最上級
2学期	Summer Reading Mama's Bank Account Lesson 5 Banana Paper Lesson 6 Patterns in Human Behavior Lesson 7 No Plastic or No Future Lesson 8 Oh My Cod!	説明する、理由を述べる、共感する表現 関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）、S＋seem＋to 不定詞 It＋be 動詞＋形容詞＋that 節、S＋V [be 動詞以外＋C]、S＋V＋O＋C [形容詞] 関係副詞 where、関係副詞 when、関係代名詞 what 現在分詞の分詞構文、関係代名詞の非制限用法、過去完了形
3学期	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport? Lesson 10 Being Different Is Beautiful Optional Reading THANK YOU, ICHIRO	S＋V [知覚]＋O＋[現在分詞、原形不定詞]、S＋V [使役]＋O＋C [原形不定詞]、S＋V＋O₁＋O₂ [if などの節] wish＋仮定法過去の節、仮定法過去の as if 節、仮定法過去の if 節 説明する、理由を述べる、共感する表現

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅰ	学年	第4学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	MY WAY Logic and ExpressionⅠ（三省堂）				
副教材	MY WAY Logic and ExpressionⅠ サブノート・WORKBOOK						

学習目標	1 基本的な語句や文を用いて、情報や考え・気持ちなどを話して伝え合い、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにします。
	2 ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにします。
	3 スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにします。
学習方法	国際社会の一員として、身近な話題や世界共通の課題等についての背景知識を深め、基礎的な英語を通して、自分の考えを伝えられるようにするため、各レッスンの言語材料（文の法、語彙、イディオム、発音等）を丁寧に学習し、繰り返し練習します。また、定着度を測るため、確認テスト等を定期的の実施します。
評価方法	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト・小テスト・授業におけるコミュニケーション活動 【思考・判断・表現】定期テスト・授業におけるプレゼンテーション・コミュニケーション活動 【主体的に学習に取り組む態度】プレゼンテーション・授業ファイルや長期休業中や週末の課題等の提出物・授業における発表回数

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	Lesson 1 Let's Talk about Ourselves Lesson 2 School Life Lesson 3 The Arts	現在形 過去形 現在進行形 未来表現
2学期	Lesson 4 Food and Culture Lesson 5 Welcome to Our Town Lesson 6 Traveling Abroad Lesson 7 Sports Lesson 8 Everyday Technology	現在完了形 助動詞 受動態 不定詞 比較
3学期	Lesson 9 Take Care Lesson 10 SDGs – Take Action!	関係代名詞 関係副詞 仮定法
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	学年	第5学年	類型	共通
単位数	4単位	教科書	Power On English Communication Ⅱ（東京書籍）				
副教材	コーパス3000／4500 英単語・熟語（東京書籍）、ALL EARS BASIC（美誠社）						

学習目標	1. 必要な情報を聞き取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができるようにします。 2. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができるようにします。 3. 多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにします。
学習方法	国際社会の一員として、身近な話題や世界共通の課題等についての背景知識を深め、基礎的な英語を通して、自分の考えを伝えられるようにするため、各レッスンの言語材料（文の法、語彙、イディオム、発音等）を丁寧に学習し、繰り返し練習します。また、定着度を測るため、確認テスト等を定期的の実施します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 定期テスト、ノート、プリント、パフォーマンステスト 【思考・判断・表現】 定期テスト、発表、ノート、プリント、パフォーマンステスト中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、授業中の発言、挙手・発表回数、週末課題

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	Lesson 1 Play Me, I'm Yours Lesson 2 Ethical Fashion Lesson 3 One for All, All for One Lesson 4 Vending Machines	助動詞＋動詞の原形、受け身、S+V[be 動詞以外]+C S+V+O+C[形容詞]、S+V[使役、知覚]+O+C[原形不定詞、分詞] 現在完了形、過去完了形、仮定法過去 if 節 関係代名詞（主格）、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞（目的格）
2学期	Summer Reading Going Home Lesson 5 Design for Connecting Lesson 6 New Banknotes Lesson 7 Some Secrets about Colors Lesson 8 Powered Natto Solves a Global Water Problems	助動詞＋受け身、S+V+C[分詞]、S+V+O[if 節] It + seems[appears] + that 節、It + is[was] + said + that 節 形式目的語 it と that 節、形式目的語 it と to 不定詞 助動詞＋have＋過去分詞、関係代名詞（所有格） 同格を表す接続詞 that、前置詞＋関係代名詞 関係副詞 where の非制限用法、強調構文、強調の助動詞 do 直前の文を先行詞とする関係代名詞、to + have + 過去分詞
3学期	Lesson 9 Flying after Her Dreams Lesson 10 To Work or Not to Work? Optional Reading I am Yusura. I'm a refugee and I'm proud to stand for peace.	譲歩を表す副詞節、no matter how[where, when] 仮定法過去完了、分詞構文（過去分詞）、過去完了進行形 be + to 不定詞、未来完了形、insist など + that + S + V（動詞の原形）

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	学年	第5学年	類型	共通
単位数	2	教科書	MY WAY Logic and Expression Ⅱ（三省堂）				
副教材	MY WAY Logic and Expression Ⅱ サブノート						

学習目標	1	基本的な語句や文を用いて、情報や考え・気持ちなどを話して伝え合ったり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができるようにします。
	2	ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにします。
	3	スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、基本的な語句や文を用いて、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝え合うことができるようにします。
学習方法	国際社会の一員として、身近な話題や世界共通の課題等についての背景知識を深め、基礎的な英語を通して、自分の考えを伝えられるようにするため、各レッスンの言語材料（文の法、語彙、イディオム、発音等）を丁寧に学習し、繰り返し練習します。また、定着度を測るため、確認テスト等を定期的実施します。	
評価方法	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、パフォーマンステスト 【主体的に学習に取り組む態度】課題、発表、単語テスト	

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	Lesson 1 I Love My Country! Lesson 2 Th New Wave of Sports Lesson 3 The Future of Technology	現在完了形 過去完了形 未来を表す表現 助動詞の表現 受動態 不定詞①
2学期	Lesson 4 Rediscover Kabuki Lesson 5 Will Our Lives Change with AI? Lesson 6 Experience Madagascar's Wildlife Lesson 7 Can We Go and Live on Mars? Lesson 8 Language and Society	不定詞② 知覚動詞、使役動詞 動名詞 分詞構文 比較 関係詞
3学期	Lesson 9 Send Our Love to the World Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	仮定法 否定の表現
備考		

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	学年	第6学年	類型	共通
単位数	4単位	教科書	Power On English Communication Ⅲ（東京書籍）				
副教材	(601) コーパス 4500（東京書籍）（602・603）コーパス 3000（東京書籍）						

学習目標	1. 必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができるようにします。 2. 必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握したり、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたりすることができるようにします。 3. 多様な語句や文を目的や場面、状況などに応じて適切に用いて、情報や考え、気持ち、課題の解決などを複数のまとまりのある文で詳しく話して伝え合うやり取りを続け、会話を発展させたり、複数のまとまりのある文で詳しく話して伝え合ったりすることができるようにします。
学習の方法	国際社会の一員として、身近な話題や世界共通の課題等についての背景知識を深め、基礎的な英語を通して、自分の考えを伝えられるようにするため、各レッスンの言語材料（文法、語彙、イデオロム、発音等）を丁寧に学習し、繰り返し練習します。また、定着度を測るため、確認テスト等を定期的に実施します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、パフォーマンステスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、パフォーマンステスト中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、授業中の発言、挙手・発表回数、週末課題

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	Lesson 1 Library of the Future Lesson 2 History Maker Otani Shohei Lesson 3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals Lesson 4 Nature Photographer in Alaska	現在分詞の分詞構文、関係副詞 where 現在完了進行形、be 動詞+to 不定詞 比較表現、S+V [使役] +O+C [原形不定詞] 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞 what、分詞構文
2 学期	Lesson 5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think Lesson 6 Where Does Halloween Come from? Lesson 7 Will 3D Printing Technology Change the World? Lesson 8 A Conductor of the Underground Railroad Lesson 9 English, Always Growing Lesson 10 Understanding the Culture of Dogs	S+V+O+C、過去完了進行形、受け身 ディスコースマーカー「追加」 事実と意見 ディスコースマーカー「時間順序」 ディスコースマーカー「列挙」 ディスコースマーカー「追加」
3 学期	Optional Reading 1 Charlie and the Chocolate Factory Optional Reading 2 October Sky and the Rocket Boys	文と文、段落と段落のつながりを示す語句

備考	
----	--

教科	外国語	科目	論理表現Ⅲ	学年	第 6 学年	類型	共通
単位数	2 単位	教科書	Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ（啓林館）				
副教材	四訂版UPGRADE英文法・語法問題(数研出版)						

学習目標	1 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度を養います。 2 複数の資料を活用しながら、目的や場面、状況に応じた適切な表現が活用できるようにします。 3 INPUT で得た情報を、OUTPUT で示される目的や場面、状況に合わせて、Expressing で「聞く」「書く」「話す」練習で習得した表現を活用して、自分の考えを述べたりまとめたりできるようにします。
学習の方法	必ず予習をして授業に臨むようにします。 授業では、音読、ペアワーク、グループワーク、発表などの活動を行います。 声をしっかり出して、積極的に参加するようにします。 学習内容の定着を図るために、定期考査、校内模試、小テストなどを行います。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、パフォーマンステスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート、パフォーマンステスト中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、授業中の発言、挙手・発表回数、週末課題

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学 期	Lesson 1 Friendship and improvement	助言を与える表現を活用して、それぞれの悩みを解決する英文を組み立てます。
	Lesson 2 Which is better, a paper or an electronic dictionary?	譲歩する表現を活用して、特徴や違いをまとめる英文を組み立てます。
	Lesson 3 Can you change your personality?	物事の関係を表す表現を活用して、悩みと助言の概要を表す英文を組み立てます。
	Lesson 4 How do we make decisions?	根拠を表す表現を活用して、特徴や違いを説明する英文を組み立てます。
	Lesson 5 Online doctor consultations	代替を表す表現を活用して、利点を説明する英文を組み立てます。
	Lesson 6 Healthy lifestyle	結果を表す表現を活用して、問題点と改善策を示す英文を組み立てます。
	Lesson 7 What do you do after school?	物事の正負の影響に関する表現を活用して、特徴や違いを説明する英文を組み立てます。
2 学 期	Lesson 8 Direct and indirect ways of communication	差異を表す表現を活用して、特徴や違いを説明する英文を組み立てます。
	Lesson 9 Should we use social media?	類似を表す表現を活用して、影響についてまとめた英文を組み立てます。
	Lesson 10 Are you a good user of social media?	理由を表す表現を活用して、自分の意見を英語で書いて伝えます。
	Lesson 11 Lifetime employment or career changes?	可能性を表す表現を活用して、どちらの立場を支持するか意見を英語で書いて伝えます。
	Lesson 12 Diversity in the workplace	情報の追加を表す表現を活用して、多様性と現状を説明する英文を書いて伝えます。
	Lesson 13 The rise of the cashless society	対照を表す表現を活用して、電子決済システムの利点と欠点を説明する発表資料を英語で作成します。
	Lesson 14 The gap is widening.	意見を表す表現を活用して、自分の考えを英語で話して伝えます。
	Lesson 15 What can we do to solve global warming?	変化を表す表現を活用して、気づきをまとめた自分の考えを、英語で話して伝えます。
3 学 期	Lesson 16 Saving the earth from plastic waste	要約・結論を表す表現を活用して、自分の考えを論理的にまとめ、英語で話して伝えます。
	Lesson 17 Innovation in machine translation	目的を表す表現を活用して、利点と欠点をふまえた自分の考えを、英語で話して伝えます。
	Lesson 18 Technological changes in agriculture	例示を表す表現を活用して、発表をするための自分の考えをまとめ、英語で話して伝えます。
	Lesson 19 Just knowing about SDGs is enough?	情報源を表す表現を活用して、議論するための自分の意見を英語で話して伝えあいます。
	Lesson 20 Importance of education	義務を表す表現を活用して、議論するための自分の意見を論理的にまとめ、英語で話して伝えます。

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	外国語	科目	ディベート・ ディスカッション I	学年	第 6 学年	類型	ヒューマニティーズ 3 教科
単位数	2 単位	教科書	Watching NEWS 2024-2025(浜島書店)				
副教材							

学習目標	外国や日本についてのニュースや論説文から得た情報を活用し、基本的な語句や文を用いて自分の考えや気持ちを伝えたり、やり取りを通して情報を得たりすることができるようにします。
学習の仕方	多くの支援を活用しながらディベートやディスカッション、プレゼンテーションなどの活動を通して、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができるようにします。
評価	外国や日本についてのニュースや論説文を英語で読み、知識を広げます。 聞いたり読んだりして得た情報をまとめたり、自分の考えを表現する練習をします。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちなどを論理的に話して伝える技術を学びます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト・小テスト・授業ファイル 【思考・判断・表現】定期テスト・プレゼンテーション・パフォーマンステスト・授業におけるコミュニケーション活動 【主体的に学習に取り組む態度】授業ファイルや長期休業中や週末の課題等の提出物・授業における発表回数

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
英語で自己紹介 Lesson 1 1 Lesson 2 学 Lesson 3 期 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6	自己紹介プレゼンテーション作成・発表 Basketball Player Kawamura Yuki Vietnamese Food Life on the Coldest Land on Earth Do You Know Hula? Universal Design Hurricanes
Lesson 7 Lesson 8 2 Lesson 9 学 Lesson 10 期 Lesson 11 Lesson 12 Lesson 13	Wheelchair Tennis Player Oda Tokito The Long History of Bread The Giant's Causeway Generative AI Popularity of Anime Abroad Carbon Neutrality by 2050 Living in Space
Lesson 14 3 まとめ 学 期	Elephants in Sri Lanka まとめ

備考	
----	--

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	家庭基礎（東京書籍）				
副教材	家庭科ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会編）						

学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を学習し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に、教科書、家庭科ノート、プリント等を通して基礎的・基本的な内容を総合的に理解していきます。 ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動は、生活の中から課題を見つけ出し、課題解決を目指して主体的に計画を立てて実践することが重要です。 学習内容の定着のためには、家庭での実践が大切です。 年3回の定期考査に向けて学習内容をまとめ、知識の整理を図ることが必要です。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、提出物、実習 【思考・判断・表現】定期考査、提出物、実習中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】提出物、授業中の取り組み

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 生涯を見通す 第2章 人生を作る 第7章 衣生活をつくる 第3章 子どもと共に育つ 調理実習 （ホームプロジェクト）	自分らしい生き方、家族、生活を支える労働と生活時間等について学習します。 衣服の素材や管理の仕方、資源と環境問題等を学習します。 子どもの発達や生活について学び、健やかに育つ環境について考えます。
2学期	第4章 超高齢社会を共に生きる 第6章 食生活をつくる 第8章 住生活をつくる 調理実習	高齢者の心身の変化を知り、豊かな高齢期を迎えるしくみについて学習します。 現代の食生活の問題点や食品の選択や安全性、食品の栄養について総合的に学習します。 人と住まいとの関係について学び、健康、安全な住まい、住まいと環境について考えます。
3学期	第9章 経済生活を営む 第5章 共に生き、共に支える 第10章 持続可能な生活を営む 調理実習	消費者として自立するために、意思決定から権利と責任、持続可能な社会について学習していきます。 共に支えあう社会の実現に向けて、制度や支援体制について学び、個人や地域の役割を考えます。 持続可能な社会の構築を目指し、生活者としての課題を学びます。

備考	実習費がかかります。調理実習の時にはエプロン等のふさわしい服装が必要です。
----	---------------------------------------

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	家庭	科目	フードデザイン	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	フードデザイン（実教出版）				
副教材	調理実習ノート（基礎編）（愛媛県高等学校家庭科教育研究会編）						

学習目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることを目指します。食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養います。
学習要素	授業を中心に、教科書、調理実習ノート、プリント等を通して豊かな食生活を構成する要素を総合的に理解していきます。年間を通して実習を行い、食品の適切な取扱い方法やの主な調理操作を習得します。できるだけ少人数班での実習を行います。定着のためには、家庭でも実際に作ることが大切です。
学習方法	年2回の定期考査に向けて学習内容をまとめ、知識の整理をはかる必要があります。
評価	観点別評価規準に基づいて評価します。
評価の仕方	【知識・技能】定期テスト、ノート、実習記録表 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、グループでの話し合い、実習の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学 期	第1章 食生活と健康	食を取り巻く現状では、自分の食生活を振り返り、栄養素等の摂取状況や、食糧自給率の問題、食意識の多様化などを学習します。
	第2章 栄養素のはたらきと食事計画 調理実習 (ホームプロジェクト)	各種栄養素の特徴と体内でののはたらき、代謝について学習します。 各ライフステージの栄養上の注意点について学習します。 日常食の調理実習を行います。
2 学 期	第2章 栄養素のはたらきと食事計画	食事計画にあたっては、「食品群別摂取量のめやす」を利用できるようにします。
	第3章 食品の特徴・表示・安全 調理実習	様々な食品について、その特徴と調理性、加工について学習します。 日常食や弁当などの調理実習を行います。
3 学 期	第3章 食品の特徴・表示・安全 調理実習	食中毒についての危険性について学習します。 食品添加物の種類と用途、規制について学習します。 日常食やデザートなどの調理実習を行います。

備考 本来は、専門性が高く単位数の多い科目なのですが、2単位に合わせて内容を精選しながら学習していきます。実習費がかかります。実習時には、実習着を必ず着用してください。

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	家庭	科目	保育基礎	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ（教育図書）				
副教材							

学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指します。
学習の方法	授業を中心に、教科書、プリント等を通して子どもの発達の特長や発達課題等を総合的に理解していきます。保育実習は、年間を通して行います。乳幼児の玩具の製作や幼児食等の調理、また実際に保育所も訪問し、幼児の生活を観察したり、交流学习をしたりすることを予定しています。実施後にはまとめのレポートを提出しましょう。学習の定着のためには、振り返りや復習をしっかりと行うことが重要です。年2回の定期考査や小テストに向けて学習内容をまとめ、知識の整理を図ることが必要です。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期考査、提出物、実習 【思考・判断・表現】定期考査、提出物、実習中の行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】提出物、授業中の取り組み

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第1章 子どもの保育	子どもの健やかな発達を促すための保育の必要性和意義、保育の目標に応じた基本的な保育の方法や保育の環境について学習します。
	第2章 子どもの発達 保育実習	子どもの発達の特長や過程を体験的・系統的に学習します。 子どもの様子を観察し、交流することで、体験的に学習します。保育士の様子も観察します。
2 学期	第3章 子どもの生活 ・幼児食づくり ・乳幼児の玩具製作	子どもの生活と養護について体系的に学習します。 幼児食作りや乳幼児の玩具を製作することによって、子どもにとっての食事の意義や遊びの意義を学習します。
	第4章 子どもの福祉 保育実習	保育を行う上で重要な、子どもの福祉の理念や制度、子どもの福祉を支える様々な施設の役割について学習します。 保育実習では、一日の生活の流れの中で一部分を計画立案、準備し、保育者の視点をもって、体験的に学習します。
3 学期	第5章 子どもの文化	子どもの文化、遊びと表現活動について学習します。 子どもの健やかな発達を促すために必要な保育の技術を身に付けます。

備考	本来は専門性が高い科目であり、保育にかかわる職業への希望や家庭における保育を重視し、できるだけ専門的な内容を精選し実施する予定です。実習に伴い実習費がかかります。
----	---

令和7年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	情報	科目	情報 I	学年	第 4 学年	類型	共通
単位数	2 単位	教科書	高校情報 I Python（実教出版）				
副教材	高校情報 I Python 学習ノート（実教出版）						

学	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成することを目指します。
習	主体的・対話的で深い学びの観点から、演習や実習などを通して、理論的な学習内容を習得します。特に、情報デザイン、プログラミング、データサイエンスは、いくつかの実習を盛り込んでいます。
学	教員が理論編の内容で説明した後、生徒が問題や例題などで主体的に学習を進め、生徒自身が解答を見つけることが重要です。
の	活動を進める中で、情報をインターネットで検索し、文書処理ソフトウェアや表計算ソフトウェアを利用したり、データ分析サイトを活用したりすることで、情報活用能力も向上します。
方	プログラミングでは、個々のペースで自由に実習を進め、主体的な学習につなげます。
評	観点別評価規準に基づいて評価します。
価	【知識・技能】定期考査、ノート、実習作品、タイピングテスト
の	【思考・判断・表現】定期考査、実習作品、タイピングテスト
仕	【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、活動状況等
方	

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学 期	第1章 情報社会	情報と情報社会、問題解決の考え方、法規による安全対策、個人情報とその扱い、知的財産権の概要と産業財産権、著作権
	第2章 情報デザイン	コミュニケーションとメディア、情報デザインと表現の工夫、Webページと情報デザイン
	第3章 デジタル	デジタル情報の特徴、数値と文字の表現、演算の仕組み
2 学 期	第4章 ネットワーク	音の表現、画像の表現、コンピュータの構成と動作、コンピュータの性能 ネットワークとプロトコル、インターネットの仕組み、Webページの閲覧とメールの送受信、情報システム、情報システムを支えるデータベース、データベースの仕組み、個人による安全対策、安全のための情報技術
	第5章 問題解決	データの収集と整理、ソフトウェアを利用したデータ処理
3 学 期	第6章 プログラミング	統計量とデータの尺度、時系列分析と回帰分析、モデル化とシミュレーション アルゴリズムとプログラミング、プログラミングの基本、配列、関数、探索のプログラム、整列のプログラム
備 考		